



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 6 月 27 日

要請番号 (JL 327 - 14 - B - 13)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G232)	○ グループ型 ● 個別	○ 新規 ● 交替 2 代目	○ 2 年	JOCV/SV
ペルー	文化財保護			○ 1 年	27 / 1
			○ 2 年	27 / 2	
			○ 3 年	27 / 3	
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 国際協力庁(APCI)				
	2) 配属先名 (日本語) クントウル・ワシ文化協会				○ NGO
	3) 任地 カハマルカ州サンパプロ郡 JICA事務所の所在地(リマ市)から 北 方向 925 Km 主要都市(カハマルカ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2.5 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先運営の博物館は、東京大学古代アンデス文明調査団が1988年以降クントウル・ワシ遺跡で発掘した南米最古の黄金装飾品などの展示を行うために1994年に開館した。開館・改修時の建設費の一部は日本政府から援助を受けている。2000～2003年にかけてはUNESCOから同遺跡の復元・保存に係る支援を受けた。日本から複数の大学教授や研究者が年に数回訪れ、発掘・調査を継続中。クントウル・ワシ文化協会会員は現在95名、博物館はこれら会員の中から選抜された運営委員会が管理運営している。年間予算は約3700米ドル。現在、文化財保護JVが活動中(～2015年6月まで)。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 配属先協会員はほとんどが零細農民であり、遺跡保全や博物館管理運営の知識・技術に乏しい。博物館運営支援や遺跡発掘・調査を行っている東京大学名誉教授や考古学者の現地滞在は年に数ヶ月に限られ、また、予算・人材不足のため学芸員を雇用できていない。現在派遣中のJVの支援により、展示の改善、博物館WebページやFacebookの開設を行い、来館者は増加傾向にある。また、遺跡や博物館のガイドの質も少しずつではあるが向上が見られる。しかし、まだ現地スタッフのみでの運営管理は難しく、引き続き博物館運営委員会の運営管理能力の向上、協会員をはじめとする地域住民への遺跡や文化財保護に関する理解・関心の向上、来客数増加のためのガイドの質向上、企画・広報等、包括的な支援が求められ、本要請に至った。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 博物館運営を支援する東京大学名誉教授及び同遺跡発掘・調査チームと相談しながら、次の活動を行う。 ①博物館運営委員会に対する博物館展示内容・施設の改善や展示品維持管理に関する助言 ②来館者数増加を目指した博物館イベント企画・実施、広報への支援 ③協会員、地域住民に対する遺跡や博物館に対する理解・関心の向上のための取組み支援 ④博物館の運営管理支援				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 作業機、TVモニター				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 博物館運営委員会メンバー:30～50代男女計10名程度 協会員95名ほか地域住民:老若男女			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)	
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格() 又は() ・性別()理由: ・学歴(大卒)()理由:遺跡博物館運営管理支援のため ・経歴()()理由: 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 ○ 単車 ○ 自転車 ● 不要	
				現職教員特別参加制度 ○ 可 春募集時のみ適用 ● 否 SVは通年対象外	
地域概況	気候(高山気候) 気温(0～25 ℃位) 電気(● 安定 ○ 不安定 ○ なし) 通信(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(● 安定 ○ 不安定 ○ なし)				
特記事項	学芸員有資格者が望ましい。住居は博物館に隣接する配属先所有の宿泊施設となる予定。インターネット回線は徒歩20分のサンパプロ市内で接続可能。				

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 JV)

記入日:平成 26 年 6 月 30 日

要請番号(JL 239 - 14- B - 17)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G236)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV
ホンジュラス	家政・生活改善			1年	27 / 1
			ヶ月	27 / 3	年 月 から
				/	

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 外務省
	2) 配属先名 (日本語) ペスピレ開発協会 <input checked="" type="radio"/> NGO
	3) 任地 チョルテカ県ペスピレ市 JICA事務所の所在地(テグシガルパ市)から 南 方向 83 Km 主要都市(テグシガルパ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は国際NGOセーブ・ザ・チルドレンが当地で展開していた開発支援活動の移管先として1998年に地元住民組織により設立されたNGOで、ペスピレ市民(人口約26000人)の生活の質の向上を目的に、住民組織の能力強化、環境保護、食料安全保障、経済活動促進の4つをテーマにプロジェクトを実施している。運営・活動資金は国際NGO、国際機関(カナダ)欧州連合(EU)からの資金支援で賄われている。2014年の年間予算は約50万ドル。これまでに米国ピースコー、及びベルギー、カナダからのボランティアを受入れた経験がある。

要請概要	1) 要請理由・背景 配属先は、経済活動促進の一環として、ペスピレ市内の小規模農家の集まりであるペスピレ農牧産物生産者組合に対し、農産物の販売促進による収入向上を支援している。主な生産物は、マンゴー、パパイヤ、パイナップル、レモン、パッションフルーツ、バナナ等の熱帯果実で、2011年に町の入口に専用の販売所を設置した。収穫期の余剰生産物を有効利用するため、昨年から絞リジュースの販売を開始している。販売所では、絞リジュースの他、生産者女性グループが自宅で作った簡単なお菓子も販売しているが、生産者の収入の向上を図るためには、収穫物を活用した新しい商品の開発が求められており、ボランティアが要請された。ボランティアには、販売促進への支援も期待されている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 主に女性生産者グループを対象に、以下の活動を行う。 1.地域の市場ニーズを調査し、余剰収穫物を有効活用した新しい商品を共に考案する。 2.配属先及び生産者が居住する村落において、商品の試作、調理を指導する。 3.収穫物及び商品の販売促進を支援する。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 絞リジュース作業場・冷凍保管所(2014年内完成予定)、村落部の住民が所有する薪窯
	4) 配属先同僚及び活動対象者 所長(男性、大卒)、配属先常勤スタッフ18名 同僚:連帯経済プロジェクト担当(女性、大卒、20代) 活動対象者:ペスピレ農牧産物生産者組合会員47世帯(中卒、20~65歳)

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格() 又は() ・性別()理由: ・学歴(短大卒) ()理由:同僚とのバランス上必要 ・経験() ()理由: 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(亜熱帯気候) 気温(20~38 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項	
------	--



長期 (長期 JV)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 26 年 8 月 6 日

要請番号 (JL 324 - 14 - B - 26)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G236)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	派遣希望時期	JOCV/SV
パラグアイ	家政・生活改善			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1
				年 月	から

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農牧省
	2) 配属先名 (日本語) サン・ファン・パウティスタ農業学校 <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 サン・ファン・パウティスタ農業学校 JICA事務所の所在地(アスンシオン)から 南 方向 200 Km 主要都市(エンカルナシオン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 南部ミシヨネス県に在る3年制の農業学校。農産物栽培や酪農全般に関する知識、技術を取得し、農業技術者を育成することを目的としており、現在の生徒数は155名(うち35名が女性)。県内農家の子弟を始め県外からの生徒も受け入れており、校内に寄宿して学んでいる。12名の教師陣が指導にあたっており、その中には隣県のイタプア県庁から派遣されている技術者3名、獣医2名も含まれている。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 同校にはスペインの援助によって支援された農産物加工用設備があるが、パラグアイでは暑い気候も影響し昔から農産物を加工し長期間保存するという習慣もなかったため、野菜や果物等の食品加工技術はあまり発達しておらず、教師陣にも技術が不足している。現在でもこの設備を十分に活かした生徒への指導が行われていない。学校では校内農場で地域特産の野菜・果物を試験栽培しており、施設でそれらを用いて、生徒に食品の保存加工の方法・技術を指導したいと考えている。流通や一般販売を目的としたものではなく、方法や手順を生徒に直接指導し、技術として身に付けさせることが目的。そのため食品知識を持ち、保存加工方法の助言ができる人材を希望している。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 学校敷地内で試験栽培される野菜・果物を利用して、校内の設備を使った加工品のアイデアを提供する。 2. 常温状態での食品保存に関する知識指導。 3. カウンターパートと一緒に、生徒に対して、食品加工の授業、実習を指導する。 4. 学校のEXPO等で、地域住民に向けて簡単な保存・加工の方法を紹介する。(ピクルスやジャム、コンポート等) ※校内に酪農実習施設を建設予定。完成すれば上記に加えて、バターやチーズ等簡単な乳製品加工の指導も活動に加わる可能性がある。
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 食品加工用設備一式(加熱用大なべ、攪拌機器、冷凍庫等)、実習用スペース	

要	4) 配属先同僚及び活動対象者 カウンターパート(女性40代 大卒)農産物加工指導責任者 農業学校生徒(1~3年)	5) 活動使用言語 (スペイン語)
		6) 生活使用言語 (スペイン語)
		7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許/資格 () 又は () ・ 性別 () 理由: _____ ・ 学歴 (専門学校卒) () 理由: 同等以上資格持つ教師へ指導必要 ・ 経歴 (実務経験) (2年以上) 理由: 同等以上経験持つ教師へ指導必要 理由: _____	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 否
		春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域 概況	気候(熱帯雨林気候) 気温(0~40 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
----------	---

特記事項 高度な食品加工技術というよりも、身近なものを用いて加工品を作ったり、保存を可能にするアイデアが求められます。



長期 (長期 JV)

記入日:平成 26 年 8 月 6 日

要請番号(JL 324 - 14 - B - 27)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国籍	職種 (コード G236)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期
パラグアイ	家政・生活改善			<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	27 / 1
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農牧省				
	2) 配属先名 (日本語) ビジャリカ農業学校				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ビジャリカ市 JICA事務所の所在地(アスンシオン)から 南東 方向 180 Km 主要都市(オビエド)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 3年制の農業学校。農産物栽培や酪農全般に関する知識、技術を取得し、農業技術者を育成することを目的としている。現在の生徒数は198名(うち65名が女性)。県内農家の子弟を始め県外からの生徒も受け入れており、校内に寄宿して学んでいる。21名の教師陣が指導にあっている。過去にJICAボランティア(野菜栽培、家畜飼育)を受け入れた実績を持つ。				
要請概要	1) 要請理由・背景 同校にはスペインの援助によって支援された農産物加工用設備があるが、パラグアイでは暑い気候も影響し昔から農産物を加工し長期間保存するという習慣もなかったため、野菜や果物等の食品加工技術はあまり発達しておらず、教師陣にも技術が不足していることから、現在もこの設備を十分に活かしての生徒への指導が行われていない。学校では校内農場で地域特産の野菜・果物を試験栽培しており、施設でそれらを用いて、生徒に食品の保存加工の方法や技術を指導したり、将来的には外部からの実習や研修を受け入れることができるレベルにまで視察や技術を充実させたいと考えており、食品加工知識を持ち、助言ができる人材を希望していたことから今回の要請となった。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.学校敷地内で試験栽培される野菜・果物を利用して、校内の設備を使った加工品のアイデアを提供する。 2.カウンターパートと一緒に、生徒に対して、食品加工の授業、実習を指導する。 3.学校のEXPO等で、地域住民に向けて簡単な保存・加工の方法を紹介する。(ピクルスやコンポート等) 4.外部に向けて、農産物加工の技術講習や研修を提供できる場となるよう、学科や実習内容を充実させる。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 食品加工用設備一式(加熱用大なべ、攪拌機器、冷凍庫等)、実習用スペース				
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 カウンターパート(男性50代 大卒)農産物加工指導責任者 農業学校生徒(1~3年)			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 () 又は () ・性別 ()理由: ・学歴 (専門学校卒) ()理由: 同等以上資格持つ教師へ指導必要 ・経歴 (実務経験) (2年以上)理由: 同等以上経験持つ教師へ指導必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVIは通年対象外	
地域概況	気候(熱帯雨林気候) 気温(0~40 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項	高度な食品加工技術というよりも、身近なものを用いて加工品を作ったり、保存を可能にするアイデアが求められます。				



長期 (長期 JV)

記入日:平成 26 年 6 月 9 日

要請番号 (JL 327 - 14 - B - 14)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G236)	○ グループ型 ● 個別	○ 新規 ● 交替 2 代目	派遣希望時期	JOCV/SV
ペルー	家政・生活改善			○ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 1 27 / 2 27 / 3
1) 受入省庁名 (日本語) 農業灌漑省(MINAGRI)					
2) 配属先名 (日本語) 地域農産物生産性向上プログラム(AGRORURAL)					○ NGO
3) 任地 クスコ州サン・サルバドル町 JICA事務所の所在地(リマ)から 南東 方向 1153 Km 主要都市(リマ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間)					
4) 配属先の規模・事業内容 地域農産物生産性向上プログラム(AGRORURAL)は、農業生産や農業輸出の遅れた地域の農村開発を促進することを目的に、2008年に設立された組織。JVの活動先はAGRORURALが支援するキウイチャ加工者協会。本協会メンバーは全て女性。設立当初は14名であったが現在は4名で運営している。協会長はJICAの本邦研修(一村一品運動)に参加した経験がある(2010年9月)。年間予算は約20万円。現在、同地域にコミュニティ開発JV及び野菜JV(いずれも~2015年6月)、栄養士JV(~2016年6月)が活動中。また、26-3隊でマーケティングJVが着任予定。					
1) 要請理由・背景 日本では微量栄養素、アミノ酸を含む健康補助食品として注目を集めるキウイチャ(邦名:アマランサス)であるが、現地住民は殆ど食せず、また、一次産品として中間業者に卸している生産者が殆どである。キウイチャ加工者協会では、主にキウイチャを使ったクッキーを生産しており、農業省が主催する農業市や品評会に参加している。しかしながら、製造しているのは4種類のみであり、形が違うだけで味のバリエーションがない。現在活動中のJVは、新たなキウイチャクッキーを試作しつつ、日本旅館の茶菓子をイメージしたホテルへの販売を模索している。今後も、協会の所得向上を目指したキウイチャを使ったクッキー以外の新製品開発、販売戦略策定、市場開拓への支援が求められている。また、併せて協会の運営管理への支援も期待され、本要請に至った。					
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 協会員と共に次の活動を行う。 ①キウイチャクッキーの改良 ②キウイチャ新加工品の開発 ③加工品パッケージの改良 ④26-3隊で着任予定のマーケティングJVとの連携による新たな販路確保 ⑤協会の運営(主に収支管理)支援					
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 電気オープン2個、ミキサー、計量器、冷蔵庫					
4) 配属先同僚及び活動対象者 協会長: 30代女性 スタッフ: 20~30代女性3名				5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:)	
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 () 又は () ・性別 () 理由: () ・学歴 () () 理由: () ・経験 () () 理由: () ・ 食品加工(クッキー等)の経験 理由: 経験に基づいた指導が必要				活動上の單車/自転車の必要性 ○ 單車 ○ 自転車 ● 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 春募集時のみ適用 ● 否 SVは通年対象外	
地域概況 気候(高山気候) 気温(0~21 ℃位) 電気(● 安定 ○ 不安定 ○ なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(● 安定 ○ 不安定 ○ なし)					
特記事項					



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 8 月 4 日

要請番号 (JL 472 - 14 - B - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G236)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV
スーダン	家政・生活改善			27 / 1	27 / 3
年 月 から					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 人的資源開発・労働省				
	2) 配属先名 (日本語) 職業訓練徒弟評議会(SCVTA) <input type="radio"/> NGO				
	3) 任地 ハルツーム州ハルツーム市 JICA事務所の所在地(ハルツーム市)から 北 方向 0 Km 主要都市(ハルツーム市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、スーダンの職業訓練事業を統轄している人的資源開発・労働省傘下の政府系機関である。全国にある国立・私立の職業訓練センターに対して技術支援を行っている。2011年1月から2013年12月の3年間、JICAの技術協力プロジェクト「北部スーダン職業訓練強化プロジェクト」が実施され機能強化を行った。現在、ボランティア事業としては本募集の前任が活動中のほか、コミュニティ開発JV(～2014.3、後任赴任予定)、手工芸JV(～2015.3)の合計3名のJVが協力して活動にあっている。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 配属先管轄の国立・私立職業訓練センターでは女性支援活動を行っている。その活動は、食品加工、服飾、手工芸など多岐にわたる。これらの活動は、女性や社会的弱者の自立・収入向上に貢献する可能性を秘めており、既存の活動だけでなく、新たな視点による活性化を求めている。現在、家政JV、コミュニティ開発JV、手工芸JVが活動中で、本要請は家政JVの後任にあたる。前任は専門を活かして主にお菓子作りや食品に関する活動を実施しているため、そうした活動の継続を踏まえて、派遣中JV同士の連携による活動展開を実施する。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先担当スタッフや各センター担当者とともに、主に得意分野での活動を実施する。 1. 食品加工、服飾、手工芸等、短期コースの計画・実施を支援する。 2. 新しい商品のアイデアを提案し、短期ショートコースへ導入していく。 3. 商品を広く紹介し、販売を促進するような新しい活動を提案、実施を支援する。 4. その他、多団体・企業との協力体制を図る。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 各校によるが、食品加工、服飾、手工芸等のうち、得意分野における技術指導に必要な機材は揃っている。				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 女性支援活動担当職員3名(30～40歳代、女性) 女性支援活動指導員10名程度(各職業訓練センター配属、30～40歳代、女性) その他、コース参加者等			5) 活動使用言語 (アラビア語) 6) 生活使用言語 (アラビア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:)	
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 () 又は () ・性別 (女性) 理由: 社会的背景による ・学歴 (大卒) () 理由: 指導的立場で学歴が必需 ・経歴 () () 理由: 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	
地域 概況	気候(砂漠気候) 気温(20～45 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記 事項					



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 7 月 1 日

要請番号(JL 551 - 14 - B - 12)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G236)	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV	
ザンビア	家政・生活改善			1年	27 / 1	日系/短期
				ヶ月	27 / 2	
				27 / 3	年 月 から	
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業畜産省					
	2) 配属先名 (日本語) ルサカ州農業事務所(カフエ郡農業事務所)				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 ルサカ州カフエ JICA事務所の所在地(ルサカ)から 南 方向 50 Km 主要都市(カフエ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先である州農業事務所はルサカ州の農業行政を司っている。州農業調整官のもと、生産、普及、畜産、水産、灌漑、マーケティング、食物/栄養の専門技官がおり、それぞれの分野で農民への支援を行なっている。ルサカ州下には8つの郡があり、それぞれに郡農業事務所が配置されており、今回JVが派遣されるカフエ郡農業事務所もその1つである。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 ザンビアでは以前より栄養改善についての取り組みがなされてきた。これまでは主に保健省がメインで実施してきたが、近年、農業畜産省でも本格的に栄養改善に取り組むこととなった。農業畜産省のこれまでの取り組みとして、主に作物の生産量を拡大することで栄養の改善に寄与してきたが、これからは栄養教育、食品加工・保存、生活改善、組織力強化などのアプローチで実施していく。 ルサカ州農業事務所はこれに先立ってパイロット地域として実施していくことになり、2014年9月から2ヶ月間、JICA短期ボランティア6名とともにデモを通じた実地調査を行う予定である。今後はその結果をもとに、さまざまなアプローチで、戦後復興で活躍した生活改良普及員のように村落地域の栄養・生活改善を目指していく。今回JVは同州の4郡にそれぞれ配置され、州の指導のもと、郡同士連携をとりながら実施していく。本案件はその1つの郡である。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 州農業事務所主任農業官の指揮のもと、主に郡の栄養技官や農業普及員とともに以下に挙げられるような栄養・生活改善活動をバイクで巡回して行う。また、それらを通してどういった取り組みが効果的かを探っていく。 ・「なぜ栄養が大事なのか」など、栄養と健康に関する栄養教育 ・ジャム作りや乾燥野菜などの食品加工・保存の支援 ・調理実習や生活環境の改良などの生活改善の支援 *以上のような取り組みを女性グループ等が自分でできるようにしていくための支援を行うが、状況によっては各農業事務所が注力している特定分野の業務支援(稲作、養蜂、キノコ栽培等)となる可能性もある。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 机、椅子、その他の事務用品					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・郡農業調整官 ・栄養技官および農業普及員 ・プロジェクトサイトの農民			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (ハール: C) 又は (ハール:)		
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格() 又は() ・性別()理由: ・学歴()理由: ・経験(社会経験)(3年以上)理由:普及員と協力し支援を行うため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
	地域概況 気候(サバナ気候) 気温(5~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 JV)

記入日:平成 26 年 7 月 1 日

要請番号(JL 551 - 14- B - 13)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G236)	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	JOCV/SV	日系/短期
ザンビア	家政・生活改善			2年	27 / 1	年 月 から
				1年	27 / 2	
ヶ月	27 / 3					

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業畜産省
	2) 配属先名 (日本語) ルサカ州農業事務所(チونغウェ郡農業事務所) <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ルサカ州チونغウェ JICA事務所の所在地(ルサカ)から 東 方向 50 Km 主要都市(チونغウェ)までの交通手段及び所要時間(徒歩)で約 0 時間
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先である州農業事務所はルサカ州の農業行政を司っている。州農業調整官のもと、生産、普及、畜産、水産、灌漑、マーケティング、食物/栄養の専門技官がおり、それぞれの分野で農民への支援を行なっている。ルサカ州下には8つの郡があり、それぞれに郡農業事務所が配置されており、今回JVが派遣されるチونغウェ郡農業事務所もその1つである。

要請概要	1) 要請理由・背景 ザンビアでは以前より栄養改善についての取り組みがなされてきた。これまでは主に保健省がメインで実施してきたが、近年、農業畜産省でも本格的に栄養改善に取り組むこととなった。農業畜産省のこれまでの取り組みとして、主に作物の生産量を拡大することで栄養の改善に寄与してきたが、これからは栄養教育、食品加工・保存、生活改善、組織力強化などのアプローチで実施していく。 ルサカ州農業事務所はこれに先立ってパイロット地域として実施していくことになり、2014年9月から2ヶ月間、JICA短期ボランティア6名とともにデモを通じた実地調査を行う予定である。今後はその結果をもとに、さまざまなアプローチで、戦後復興で活躍した生活改良普及員のように村落地域の栄養・生活改善を目指していく。今回JVは同州の4郡にそれぞれ配置され、州の指導のもと、郡同士連携をとりながら実施していく。本案件はその1つの郡である。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 州農業事務所主任農業官の指揮のもと、主に郡の栄養技官や農業普及員とともに以下に挙げられるような栄養・生活改善活動をバイクで巡回して行なう。また、それらを通してどういった取り組みが効果的かを探っていく。 ・「なぜ栄養が大事なのか」など、栄養と健康に関する栄養教育 ・ジャム作りや乾燥野菜などの食品加工・保存の支援 ・調理実習や生活環境の改良などの生活改善の支援 *以上のような取り組みを女性グループ等が自分で行うことができるようにしていくための支援を行うが、状況によっては各農業事務所が注力している特定分野の業務支援(稲作、養蜂、キノコ栽培等)となる可能性もある。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 机、椅子、その他の事務用品

資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・郡農業調整官 ・栄養技官および農業普及員 ・プロジェクトサイトの農民	5) 活動使用言語 (英語)
		6) 生活使用言語 (その他)
		7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (社会経験) (3年以上) 理由:普及員と協力し支援を行うため 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要)
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVIは通年対象外

地域概況	気候(サバナ気候) 気温(5~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	---

特記事項	
------	--



長期 (長期 JV)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 26 年 7 月 1 日

要請番号 (JL 551 - 14 - B - 14)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G236)	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
ザンビア	家政・生活改善			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1
			27 / 2		
			27 / 3		

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業畜産省
	2) 配属先名 (日本語) ルサカ州農業事務所(チランガ郡農業事務所) <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ルサカ州チランガ JICA事務所の所在地(ルサカ)から 南 方向 25 Km 主要都市(チランガ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先である州農業事務所はルサカ州の農業行政を司っている。州農業調整官のもと、生産、普及、畜産、水産、灌漑、マーケティング、食物/栄養の専門技官があり、それぞれの分野で農民への支援を行なっている。ルサカ州下には8つの郡があり、それぞれに郡農業事務所が配置されており、今回JVが派遣されるチランガ郡農業事務所もその1つである。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 ザンビアでは以前より栄養改善についての取り組みがなされてきた。これまでは主に保健省がメインで実施してきたが、近年、農業畜産省でも本格的に栄養改善に取り組むこととなった。農業畜産省のこれまでの取り組みとして、主に作物の生産量を拡大することで栄養の改善に寄与してきたが、これからは栄養教育、食品加工・保存、生活改善、組織力強化などのアプローチで実施していく。 ルサカ州農業事務所はこれに先立ってパイロット地域として実施していくことになり、2014年9月から2ヶ月間、JICA短期ボランティア6名とともにデモを通じた実地調査を行う予定である。今後はその結果をもとに、さまざまなアプローチで、戦後復興で活躍した生活改良普及員のように村落地域の栄養・生活改善を目指していく。今回JVは同州の4郡にそれぞれ配置され、州の指導のもと、郡同士連携をとりながら実施していく。本案件はその1つの郡である。	
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 州農業事務所主任農業官の指揮のもと、主に郡の栄養技官や農業普及員とともに以下に挙げられるような栄養・生活改善活動をバイクで巡回して行う。また、それらを通してどういった取り組みが効果的かを探っていく。 ・「なぜ栄養が大事なのか」など、栄養と健康に関する栄養教育 ・ジャム作りや乾燥野菜などの食品加工・保存の支援 ・調理実習や生活環境の改良などの生活改善の支援 *以上のような取り組みを女性グループ等が自分でできるようにしていくための支援を行うが、状況によっては各農業事務所が注力している特定分野の業務支援(稲作、養蜂、キノコ栽培等)となる可能性もある。	
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 机、椅子、その他の事務用品	
	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・郡農業調整官 ・栄養技官および農業普及員 ・プロジェクトサイトの農民	5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 () 又は () ・性別 () 理由: () ・学歴 () () 理由: () ・経歴 (社会経験) (3年以上) 理由: 普及員と協力し支援を行うため 理由: ()	活動上の単車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外
-----------------------	--	--

地域 概況	気候(サバナ気候) 気温(5~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
----------	--

特記 事項	
----------	--



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 7 月 1 日

要請番号(JL 551 - 14 - B - 15)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G236)	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
ザンビア	家政・生活改善			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1
27 / 3					
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 農業畜産省 2) 配属先名 (日本語) ルサカ州農業事務所(ルンサ郡農業事務所)				<input type="radio"/> NGO
先	3) 任地 ルサカ州ルンサ JICA事務所の所在地(ルサカ)から 東 方向 160 Km 主要都市(ルンサ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
要	4) 配属先の規模・事業内容 配属先である州農業事務所はルサカ州の農業行政を司っている。州農業調整官のもと、生産、普及、畜産、水産、灌漑、マーケティング、食物/栄養の専門技官がおり、それぞれの分野で農民への支援を行っている。ルサカ州下には8つの郡があり、それぞれに郡農業事務所が配置されており、今回JVが派遣されるルンサ郡農業事務所もその1つである。				
要	1) 要請理由・背景 ザンビアでは以前より栄養改善についての取り組みがなされてきた。これまでは主に保健省がメインで実施してきたが、近年、農業畜産省でも本格的に栄養改善に取り組むこととなった。農業畜産省のこれまでの取り組みとして、主に作物の生産量を拡大することで栄養の改善に寄与してきたが、これからは栄養教育、食品加工・保存、生活改善、組織力強化などのアプローチで実施していく。 ルサカ州農業事務所はこれに先立ってパイロット地域として実施していくことになり、2014年9月から2ヶ月間、JICA短期ボランティア6名とともにデモを通じた実地調査を行う予定である。今後はその結果をもとに、さまざまなアプローチで、戦後復興で活躍した生活改良普及員のように村落地域の栄養・生活改善を目指していく。今回JVは同州の4郡にそれぞれ配置され、州の指導のもと、郡同士連携をとりながら実施していく。本案件はその1つの郡である。				
概	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 州農業事務所主任農業官の指揮のもと、主に郡の栄養技官や農業普及員とともに以下に挙げられるような栄養・生活改善活動をバイクで巡回して行う。また、それらを通してどういった取り組みが効果的かを探っていく。 ・「なぜ栄養が大事なのか」など、栄養と健康に関する栄養教育 ・ジャム作りや乾燥野菜などの食品加工・保存の支援 ・調理実習や生活環境の改良などの生活改善の支援 *以上のような取り組みを女性グループ等が自分で行うことができるようにしていくための支援を行うが、状況によっては各農業事務所が注力している特定分野の業務支援(稲作、養蜂、キノコ栽培等)となる可能性もある。				
要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 机、椅子、その他の事務用品				
資	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・郡農業調整官 ・栄養技官および農業普及員 ・プロジェクトサイトの農民			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)	
格	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (社会経験) (3年以上) 理由:普及員と協力し支援を行うため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	
条					
件					
等					
地	気候(サバナ気候) 気温(5~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
域					
概					
況					
特					
記					
事					
項					



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号(JL 551 - 14- B - 30)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G236)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3	日系/短期 年 月 から
ザンビア	家政・生活改善					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 地域開発・母子保健省					
	2) 配属先名 (日本語) ジョージ・クリニック				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 ルサカ州ルサカ JICA事務所の所在地(ルサカ)から 北 方向 0 Km 主要都市(ルサカ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 ジョージ地区は首都ルサカ市の西に位置しており、コンパウンドと呼ばれる未計画居住区の中に所在するクリニックにおいて活動する。2001年、同保健局と日本のNGOアムダとの共同で、クリニックが行う乳幼児健診や生活環境改善の実施を担う現地ボランティアのための資金創出を目的として、洋裁教室や家庭菜園等の小規模事業が展開された。現在、同NGOとのプロジェクトは終了したが、クリニックで活動する現地ボランティアを支援し、引続き彼らや現地住民の生活改善を目指す。2014年3月現在、同地区で村落開発普及員の協力隊員が1名(主に農業部門担当)、当国保健分野では13名のJICAボランティア(協力隊及びSV)が活動中。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 保健局とアムダの支援でジョージ・クリニックでは現地ボランティアを有効活用し、乳幼児健診やコンパウンドの生活環境改善が図られてきた。現地ボランティアの協なしではそれらの活動を運営していくのは困難であるが、無報酬による協力を強いるのは限界があり、現地ボランティアのモチベーション向上を目的として、小規模事業を開始した。現在は、家庭菜園や養鶏、キノコ栽培等の指導を村落開発普及員の協力隊が指導している。その運営は順調ではあるが、今般一般住民への健康教育や母親教室、栄養指導等を含む教育を実施することで、ジョージ地区の住民の生活向上が期待できる。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・クリニックで活動する現地ボランティアのサポート。特に栄養指導を行う。 ・同地区で生産された野菜や鶏肉等を使用して、栄養バランスのとれたクッキング・デモンストレーションを行う。 ・その他、クリニック看護師やボランティア・グループと話し合い、ジョージ地区の生活向上のためにつながる活動を実施する。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 健康教育に関する教材。					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 医師3名(男性30~50歳代)、準医師8名(男女、30~40歳代) 助産師12名(女性、20~50歳代) 看護師37名(男女、20~50歳代) 環境衛生士1名(女性、30歳代) 臨床検査技師2名(男女各1名、30歳代)等 地域ボランティア約50名(男女、20~50歳代)			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)		
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 () () 理由: 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要		
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域概況	気候(サバナ気候) 気温(5~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 JV)

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号 (JL 554 - 14 - B - 08)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G236)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV	
ジンバブエ	家政・生活改善			1年	27 / 1	日系/短期
				ヶ月	27 / 2	
				27 / 3	年 月 日から	

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育・科学・技術省
	2) 配属先名 (日本語) メリーマウントTRS'カレッジ <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ムタレ JICA事務所の所在地(ハラレ)から 南東 方向 270 Km 主要都市(ムタレ)までの交通手段及び所要時間(パス で約 0.2 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 モザンビークとの国境を接するジンバブエ東部の州、マニカランド州の州都ムタレにある公立の小学校および幼稚園教員養成校。在籍学生数は約1,000人だが、その半数以上が約2年間の教育実習に赴いている学生であるため、全員が校内にて授業を受けている訳ではない。2012年より派遣された体育隊員が活動中。年間予算は160,000米ドル。外国からの援助はない。

要請概要	1) 要請理由・背景 教育人材の育成と職業訓練分野は、ジンバブエでのJICAの取り組みにおける重要課題である。本件は、小学校教員養成への協力であり、専門技術を習得することによる職業訓練分野への貢献をおこなうものである。 ジンバブエの小学校教員養成課程では、家庭科(Home economics)を習得するコースがあり、日本人ボランティアによる服飾分野を中心とした協力活動の可能性があり、既にJOCVの受け入れ実績のある本件配属先より、要請が出された。 配属先は、ジンバブエ人講師とJOCVによる技能、知識の交流により、学生に対し、より良い効果が現れることを期待している。家政科はおもに服飾と調理に大別されるが、同校の家政科は服飾をメインとしている。調理についても一応の設備があり、ボランティアが着手することも可能である。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同校の家庭科に所属し講師のサポートをする。 ①実習の実技指導 ②定期試験の作成、採点 ③学生の教育実習先訪問と現場での助言
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 家庭科教室備品一式(ミシン、電気コンロ、台所用品)、PC、参考書籍
4) 配属先同僚及び活動対象者 同校の学生は中等学校Oレベル(日本の高校に相当)修了者 同校講師85名、職員65名 家庭科教員 4名 女性のみ30-50代 大卒、院卒	5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (家政) 理由: 同僚と同等レベル ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 教員養成校講師として活動 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVIは通年対象外

地域概況	気候(温帯夏雨気候) 気温(5~25 °C位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項	
------	--



長期 (長期 JV)

記入日:平成 26 年 6 月 27 日

要請番号(JL 560 - 14- B - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G236)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV
ベナン	家政・生活改善		<input type="radio"/> 27 / 1 <input type="radio"/> 27 / 2 <input type="radio"/> /	年 月 日 から	

配 属 先 概 要	1)受入省庁名 (日本語) 家族・社会問題・国家連帯・障害者省
	2)配属先名 (日本語) クルエカメ福祉センター <input type="radio"/> NGO
	3)任地 クルエカメ市 JICA事務所の所在地(コトヌー)から 北西 方向 153 Km 主要都市(コトヌー)までの交通手段及び所要時間(車 で約 4 時間)
	4)配属先の規模・事業内容 同省は、全国約80箇所に福祉センターを配置し、地域の社会的弱者に対する支援を行っている。クルエカメ福祉センターは1985年に設立。日本の市役所の福祉課の役割を担っている。幹線道路から20Kmほど内陸に入った同市は、人口約9万5千人で8地区、61村を管轄する。同センターは、各種補助金申請の窓口業務、カウンセリング業務、女性グループ支援、孤児などの児童支援を実施している。センター利用者数は月毎約315名。センター敷地内には、洋裁アトリエと美容室アトリエが設置され、女子生徒を対象に研修を行っている。年間予算は約17万円。他外国からの援助は無い。

要 請 概 要	1)要請理由・背景 同センターは、地域住民の抱える問題に対応するため、センター内において相談業務及び諸手続きにかかる窓口業務を行っている。センタースタッフは3名のみで、センター外での訪問サービスや啓発業務に時間が持てない状況にある。クルエカメ市を含むクワッフォ県は「日陰地域」と呼ばれる地域である。特にクルエカメ市は、女子の早婚、多産による貧困家庭の事情から学校を中退せざるを得ない児童が多い。こうした女子を対象に、センター内のアトリエでは3年間研修を行い、手に職をつけ社会復帰できることを目的に活動を行っている。また、実際に村落部に出向き、住民を対象とした生活改善に向けた取り組み(衛生啓発、栄養改善、家族計画啓発等)を行うことも期待されている。センター外の現場活動を中心に、女性グループ支援や保健センター、小学校と連携する等、地域住民を対象とした活動を行う。同市内にエイズ対策・感染症対策JVを派遣予定。
	2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 福祉センターの職員と協力しながら、主に以下の業務を行う(業務時間 8時30分から12時30分、15時から18時30分) 1.センターにある洋裁アトリエの授業に協力する。洋裁講師への技術的アドバイス、生徒への指導補佐を行う。 2.自転車で行ける範囲内の村の住民を対象に、啓発活動を企画・実施する。 ・住民の生活状況や意見を取り入れながら課題を決めていく。 ・対象者は非識字者も多いことから、わかりやすい啓発方法を工夫する。 3.センターの職員と活動報告を行い、情報を共有する。
	3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 足踏みミシン3台

要 請 概 要	4)配属先同僚及び活動対象者 センター長 女性 40歳代 ソーシャルワーカー 経験年数14年 センター職員 女性 30歳代 経験年数3年、男性 20歳代 洋裁指導員 女性 30歳代 経験年数2年 美容室指導員 女性30歳代 経験年数8年 住民	5)活動使用言語 (フランス語) 6)生活使用言語 (その他) 7)選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:)
------------------	--	---

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 () 又は () ・性別 ()理由: _____ ・学歴 () ()理由: _____ ・経歴 () ()理由: _____ 理由: _____	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(熱帯雨林気候) 気温(25~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	---

特記事項	生活インフラは不安定で停電・断水が頻発する。インターネットの接続は不可ではないが、接続状況は不安定である。情報収集は、ネットに頼らず自らの足で収集する積極性と覚悟が必要。
------	---



長期 (長期 JV)

記入日:平成 26年 6月 27日

要請番号 (JL 560 - 14 - B - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G236)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 /	日系/短期 年 月 から
ベナン						

配	1) 受入省庁名 (日本語) 家族・社会問題・国家連帯・障害者省				
属	2) 配属先名 (日本語) ジャコトメ福祉センター				<input type="radio"/> NGO
先	3) 任地 ジャコトメ市				
概	JICA事務所の所在地(コトヌー)から 北西 方向 131 Km 主要都市(コトヌー)までの交通手段及び所要時間(車 で約 3 時間)				
要	4) 配属先の規模・事業内容 同省は、全国約80箇所に福祉センターを配置し、地域の社会的弱者に対する支援を行っている。ジャコトメ福祉センターは1998年に設立。日本の市役所の福祉課の役割を担っている。同市は、人口約9万7千人で10地区、72村を管轄する。同センターは、各種補助金申請の窓口業務、カウンセリング業務、女性グループ支援、孤児などの児童支援を実施している。センター利用者数は月毎約300名。センター内には、洋裁アトリエが設置され、女子生徒を対象に研修を行っている。年間予算約17万円。他外国からの援助は無い。				

要	1) 要請理由・背景 同センターは、地域住民の抱える問題に対応するため、センター内において相談業務及び諸手続きにかかる窓口業務を行っている。センタースタッフは3名で、センター外での訪問サービスや啓発業務に時間が持てない状況にある。ジャコトメ市を含むクワポ県は「日陰地域」と呼ばれる地域で、男尊女卑の強い地域である。センターでは、女子教育に力を入れ、洋裁アトリエでは3年間研修を行い、手に職をつけ社会復帰できることを目的に活動を行っている。また、子供の体重測定や障害者支援も行っている。JVには、村落部にも出向き、住民を対象とした生活改善に向けた取り組み(衛生啓発、栄養改善、家族計画啓発等)を行うことも期待されている。同センターの徒歩圏内に村落開発支所(農業省支所)、小学校、保健センターがあり、こうした機関と連携した活動も視野に入れながら、地域住民へ啓発を図っていく。同市内村落開発支所に稲作栽培JVを派遣予定。				
概	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 福祉センターの職員と協力しながら、主に以下の業務を行う(業務時間 8時30分から12時30分、15時から18時30分) 1.センターにある洋裁アトリエの授業に協力する。洋裁指導員への技術的アドバイス、生徒への指導補佐を行う。 2.センター内や市内の学校、病院等での衛生啓発、栄養指導を企画、実施する。 3.自転車で行ける範囲内の村の住民を対象に、啓発活動を企画・実施する。 ・住民の生活状況や意見を取り入れながら課題を決めていく。 ・対象者は非識字者も多いことから、わかりやすい啓発方法を工夫する。 4.センターの職員と活動報告を行い、情報を共有する。				
要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 足踏みミシン10台、事務機				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 センター長 男性 20歳代 ソーシャルワーカー 経験年数3年 NGO経験3年 センター職員 男性 30歳代 経験年数 3年 NGO経験年数9年 女性 40歳代 経験年数16年 洋裁指導員 女性 20歳代 経験年数4年 住民			5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:)	

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格() 又は () ・性別()理由: ・学歴()()理由: ・経歴()()理由: 理由:		活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要
			現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVIは通年対象外

地域概況	気候(熱帯雨林気候) 気温() 25~35 °C位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	
------	--	--

特記事項	生活インフラは不安定で停電・断水が頻発する。インターネットの接続状況は不安定である。				
------	--	--	--	--	--



長期 (長期 JV)

記入日:平成 26 年 6 月 27 日

要請番号 (JL 560 - 14 - B - 06)

区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
		JOCV/SV	日系/短期
<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年	27 / 1	年 月 から
	<input type="radio"/> 1 年	27 / 2	
	<input type="radio"/> ヶ月	/	

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 家族・社会問題・国家連帯・障害者省
	2) 配属先名 (日本語) トビ克蘭福祉センター <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 トビ克蘭市 JICA事務所の所在地(コトヌー)から 北西 方向 134 Km 主要都市(コトヌー)までの交通手段及び所要時間(車 で約 4 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 同省は、全国約80箇所に福祉センターを配置し、地域の社会的弱者に対する支援を行っている。トビ克蘭福祉センターは1997年に設立。日本の市役所の福祉課の役割を担っている。幹線道路から20Km内陸に入った同市は、人口約9万人、7地区、57村を管轄する。同センターは、各種補助金申請の窓口業務、カウンセリング業務、女性グループ支援、孤児などの児童支援を実施している。センター利用者数は月毎約100名。年間予算は無く、他外国からの援助も無い。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 同センターは、地域住民の抱える問題に対応するため、センター内において相談業務及び諸手続きにかかる窓口業務を行っている。センタースタッフ2名のみで、全ての業務を行っている。トビ克蘭市を含むクワッフォ県は「日陰地域」と呼ばれる地域で、男尊女卑の強い地域である。女性グループを対象とした支援や乳児の体重測定を職員が不定期に行っているが、啓発活動や訪問サービス等には十分な時間が持てない状況である。JVには、村落部にも出向き、住民を対象に病氣予防のための衛生啓発、幼児や子供・女性たちに向けた栄養価の高い食事の紹介等に取り組むことが期待されている。同センターは、村役場と隣接しており、役場や小学校、保健センター等と連携しながら地域住民へ啓発活動を行う。同市内保健センターにJVを派遣予定。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 福祉センターの職員と協力しながら、主に以下の業務を行う(業務時間 8時30分から12時30分、15時から18時30分) 1.センターの窓口業務支援と書類整理、作成補助。 2.センター内や自転車で行ける市内の学校、病院等で村落部の住民を対象に衛生啓発、栄養指導を企画、実施する。 ・住民の生活状況や意見を取り入れながら課題を決めていく。 ・対象者は非識字者も多いことから、わかりやすい啓発方法を工夫する。 3.センターの職員と活動報告を行い、情報を共有する。

要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 啓発用資料
	4) 配属先同僚及び活動対象者 センター長 女性 30歳代 ソーシャルワーカー 経験年数12年 センター職員 男性 30歳代 経験年数 4年 住民

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: ・ 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(熱帯雨林気候) 気温(25~35 °C位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項 生活インフラは不安定で停電・断水が頻発する。インターネットの接続は不可ではないが、接続状況は不安定である。情報収集は、ネットに頼らず自らの足で収集する積極性と覚悟が必要。



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 8 月 3 日

要請番号 (JL 603 - 14 - B - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G236)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3	日系/短期 年 月 から
ジブチ	家政・生活改善					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 国民教育・職業訓練省					
	2) 配属先名 (日本語) プラオス家政学校				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 ジブチ市 JICA事務所の所在地(ジブチ市)から 東 方向 2 Km 主要都市(ジブチ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 1951年に設立された公立の3年制の家政学校。15~20歳代の女性約200名が在籍。洋裁科、刺繍科、料理科、パソコン科があり、フランス語、英語、アラビア語、算数等の一般教養科目の授業も行われている。学校の授業料は、月額約350円。JOCV隊員は、家政隊員が2名、服飾隊員が3名の派遣実績がある。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 ジブチでは、深刻な人材不足から、多くの一般国民が教育や保健等の基礎的社会サービスを適切に享受できていない。失業率は54%、若年層の失業率は70%と極めて高い。経済は、港湾物流サービス業および駐留外国軍に関連するサービス業に依存しており、主だった産業はない。プラオス家政学校では、就業機会を得ることを目的とした女性が料理や裁縫の技術習得に励んでいる。JOCV隊員はこれまで生徒への技術指導および同僚教師との協働により、成果を挙げてきた。JOCV隊員の協力により、今後も更なる授業内容の改善と教師の技術力向上が期待されている。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・洋裁、刺繍、料理の技術指導 ・家政・生活改善に関する市場調査の実施 ・新しいアイデアの提案と実施 ・教師の技術力、教授力、指導力の向上支援					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 電動ミシン(直線縫い、ジグザグ縫い、ボタンホール縫い可)2台、足踏みミシン(直線縫い)16台、裁縫道具、ガスコンロ2台、ガスオープン2台、冷蔵庫、冷凍庫、ボールやミキサーなどの調理用具					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 校長をはじめ教員はすべて女性。 校長(40歳代)、副校長(40歳代)、教員7名(30~40歳代)、調理教師2名(30~40歳代)、洋裁教師5名(30~40歳代)、刺繍教師1名(30歳代)、パソコン教師1名(30歳代)			5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:)		
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格() 又は() ・性別()理由: ・学歴(専門学校卒)(家政)理由: 専門知識が必要 ・経歴()理由: 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要		
						現職教員特別参加制度
				<input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVIは通年対象外		
地域 概況	気候(熱帯夏季少雨気候) 気温(25~37 ℃位)		電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記 事項	非常に厳しい環境のため、心身ともに頑強であることが望まれる。					



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 7 月 3 日

要請番号 (JL 618 - 14 - B - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G236)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV	
マダガスカル	家政・生活改善			1年	27 / 1	日系/短期 年 月 から
				ヶ月	27 / 2	
			27 / 3			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 人口・社会保障・女性地位向上省					
	2) 配属先名 (日本語) NGOチンジャンジャラ				<input checked="" type="radio"/> NGO	
	3) 任地 ヴァキナカラチャ県アンチラベ郡アンチラベ市 JICA事務所の所在地 (アンタナナリボ) から 南 方向 170 Km 主要都市 (アンタナナリボ) までの交通手段及び所要時間 (バス で約 3.5 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 修道会系のNGOで、学校教育を中断した地域の少女に対して職業訓練を行って自立を促す活動や、貧困家庭の子供の支援、識字教育などの社会福祉活動を実施している。運営する社会福祉センターの建物は、作家・曾野綾子氏やドイツやフランスの援助団体、カナダ人からの寄付で建設された。現在は、フランス人女性が定期的な資金援助を行っており、不定期で外国人ボランティアが短期間活動することがある。これまでに2代のJVが活動した。配属先年間予算は約151万円。					
要請概要	1) 要請理由・背景 2009年3月のマダガスカル暫定政権発足に伴い同国への新規経済協力が停止され、2012年6月以降、ボランティア事業も中断していた。2014年4月、日本政府の経済協力再開に伴い、ボランティア事業も再開することになった。配属先は、2003年に発足したNGOで、貧困などの理由で学業を中断した14~21歳の少女の自立を促す目的で、洋裁などの職業訓練を行っている。現在、約60名の生徒が在籍し、2年制で洋裁、刺繍、調理を学んでいる。2名いる指導者は、指導経験は豊富だが、商品開発知識に欠けており、商品開発にかかるアイデアの提供や技術指導による品質の向上、作品の販路拡大を目的とし、本要請に至った。2005年10月の新センターオープン後は、貧困家庭の子供への識字教育を含む初等教育も実施しており、識字教室に通う9~14歳の子供たちとの文化交流も期待されている。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 社会福祉センターにおいて、NGO責任者(修道会シスター)や同僚教師の指導の下、以下の活動を行う。 1. 洋裁、刺繍、手工芸、調理(お菓子作り)に関する職業訓練授業のサポート ※基本的に初心者対象。 2. 新しい手工芸商品の検討・アイデア提供 3. 識字教室に通う児童を対象とした日本文化紹介(折り紙、簡単な日本語指導など)					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 足踏み式ミシン、調理道具一式					
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 NGO責任者(修道会シスター)女性 1名 60代 職員 男性1名 30代 教師 女性2名 30~40代 総勢16人(識字教師、料理人ほか、ボランティア)			5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 () 又は () ・性別 (女性) 理由: 指導対象が女性であるため ・学歴 (専門学校卒) (家政) 理由: 教師への助言も行うため ・経験 (社会経験) (2年以上) 理由: 教師へのアイデア提供に必要理由: ・			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVIは通年対象外		
地域概況	気候(西岸海洋性気候) 気温(1~30 ℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項	ボランティア事業再開に伴い、新規扱いとする。					



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 6 月 17 日

要請番号(JL 006 - 14 - B - 06)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G237)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期
インドネシア	手工芸				27 / 1	27 / 2
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 社会省					
	2) 配属先名 (日本語) 国立ソロ身体障害者社会リハビリテーションセンター					<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 中部ジャワ州ソロ(スラカルタ)市 JICA事務所の所在地(ジャカルタ首都特別州)から 東 方向 550 Km 主要都市(ソロ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 インドネシアのリハビリテーションの父と呼ばれるスハルソ博士が傷痍軍人のために1946年に設立した施設。現在は、身体障害者に対して裁縫や手工芸等の職業訓練を行っている。利用者数は250人。年間予算は約2億円。1994年-1997年間にJICA技術協力「ソロ身体障害者リハビリテーションセンター」が実施され、職業評価指導、コンピューター、縫製の分野で支援が行われた。また、JV(美術、1990~92年)、SV(義肢装具士、2004~2006年)の活動実績がある。JICA以外からの支援実績はハンディキャップ・インターナショナル(仏NGO)のみで、2006年~08年に義肢装具の指導を受けた。					
要請概要	1) 要請理由・背景 施設の利用者のうちの75人はモザイク、鞆・財布、アクセサリー等の手工芸の訓練を受けており、手工芸は重要な職業訓練の一つとなっている。現在の製品は伝統的なものが中心で目新しさに欠ける傾向にあるため、同施設では市場での競争力のある新しい製品の開発及び製作指導を行うことのできるJVの派遣を求めている。手工芸の訓練を受けているのは重度の身体障害者が多く、収入も低いいため、地域の材料を活用した独創的な製品の開発が求められている6					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) JVが得意とする手工芸分野で、以下のような活動を行う。 ・地域の材料を活かした手工芸品の開発に取り組む。 ・職業指導員及び施設の利用者に対し、技術指導を行う。 ・既存の製品のデザイン性改善、品質改善に取り組む。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 手工芸のための基本道具。					
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚:職業指導員(女性2名、男性2名、30代2名、50代2名、高卒~大卒)。			5) 活動使用言語 (インドネシア語) 6) 生活使用言語 (インドネシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:)		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格() 又は() ・性別()理由: ・学歴(大卒)()理由:同僚とのバランス。 ・経歴(実務経験)(2年以上)理由:経歴に基づく指導が必要。 理由:			活動上の単車/自転車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域概況	気候(熱帯雨林気候) 気温(25~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	インドネシア側における査証手続きの問題により、他の国の同じ隊次より赴任時期が遅れる。					



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 8 月 8 日

要請番号(JL 006 - 14- B - 21)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G237)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期	
インドネシア	手工芸			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1	年 月 から
				27 / 2	27 / 3	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 社会省 2) 配属先名 (日本語) スカプミ精神障害者社会リハビリテーションセンター <input type="radio"/> NGO 3) 任地 西ジャワ州スカプミ県スカプミ市 JICA事務所の所在地(ジャカルタ首都特別州)から 南 方向 80 Km 主要都市(ジャカルタ首都特別州)までの交通手段及び所要時間(車 で約 2.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 国立の精神障害者リハビリテーション施設で、利用者数は160人。利用者の年齢は15歳～60歳で、全寮制。精神障害者に対し、ガーデニングや手工芸、料理、裁縫等の職業訓練を行っている。訓練期間は最大で2年間。クライアントは県や州の社会局の推薦を受けて施設に入所するが、施設側で職業訓練への適性があるか、状態が安定しているかを判断して、入所の可否を決めている。入所者の出身はジャワ、スマトラ、カリマンタン等。総職員数は68人。過去に外国から支援を受けた実績はない。					
要請概要	1) 要請理由・背景 同施設では、約25人～30人のクライアントが手工芸の訓練を受けており、ビーズ製品やアクセサリー、花、財布等のシンプルな小物を制作している。しかしながら、施設で制作される手工芸品にはマンネリ化の傾向があり、クライアントが訓練を終了してから、経済的に自立することを可能にするような製品を制作するにいたっていない。このため、同施設では、新しいアイデアで市場競争力のある新製品を開発できる人材を求めて今回JVの派遣を要請することとなった。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・同僚とともに、精神障害者が製作可能な新しい手工芸品を開発する。 ・施設の利用者に対し、手工芸の基礎及び製作技術を指導する。 ・同僚とともに、施設で製作した手工芸品を地域に紹介するためのイベント等について考案する。					
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC、プリンター等 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚:女性(30代、高卒) 活動対象者:精神障害者約25～30人(15～60歳)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 先方政府の意向 ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 実践的な内容の指導に必要 理由:			5) 活動使用言語 (インドネシア語) 6) 生活使用言語 (インドネシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:)		
地域概況	気候(熱帯雨林気候) 気温(18～27 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
特記事項	インドネシア側における査証手続きの問題により、他の国の同じ隊次より赴任時期が遅れる。					



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 6 月 26 日

要請番号 (JL 045 - 14 - B - 14)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G237)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV
モンゴル	手工芸		<input type="radio"/> 27 / 1 <input type="radio"/> 27 / 2 <input type="radio"/> 27 / 3	年 月 から	
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 労働省				
	2) 配属先名 (日本語) フブスグル県職業訓練校				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 フブスグル県ムルン JICA事務所の所在地(ウランバートル)から 北西 方向 670 Km 主要都市(ムルン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 1973年に創立された同校は、年間予算8,400万円程度、即戦力となる人材育成を目標とした公立職業訓練校。13の訓練コース(手工芸・建設・植林・料理・美容師等)があり、教師38名、他職員27名が生徒900名程度を指導している。中学卒業以上が入校資格を持ち、1年訓練コースと、2.5年訓練コースを選択できる。2.5年訓練コース修了者は、高校卒業資格を得ることができる。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 同県は豊富な観光資源を有しており、県の方針として観光産業を促進している。国内外からの観光客は近年増加傾向にあり、観光ホテルやツーリストキャンプも県下に100軒以上設立されている。このような状況下、観光客の興味を引き、かつホテルで販売できる様な土産(民芸品)製作を、県庁から同校が依頼され、手工芸(民芸品)コース(2.5年コース)が設立された。この訓練コースを更に拡充し、また県下の小規模産業活性化を目的としてJVが要請された。社会人対象の短期セミナー開催も期待されている。なお、同校の訓練課程で作られている作品は、主に家畜の骨・体毛(カシミア・フェルト等)・皮、木材等を利用した、同国を連想させる物が多いが、デザイン性に乏しく、既存のコピーが多いため、JVには基本的な手工芸技術(刺繍・編物・染色・織物・フェルト・皮革工芸等のいずれか)に加え、デザインに関する知識も期待されている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 【赴任初期】 ① 同僚が担当する授業に参加しながら、既存の手工芸訓練コース内容を理解する。 【活動中期以降】 ② 授業(座学・実習)を担当し、同僚とともに手工芸訓練コースの質の向上及び拡充をめざす。 ③ 可能な範囲で、生徒・卒業生・社会人を対象に、新商品開発に関する助言をする。 ※ 担当授業数は赴任後、配属先と協議の上決定されるが、現時点で22コマ/週の授業数がある。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 座学・実習用の専用教室、服飾コースの実習室、ミシン15台、フェルトや生地等の必要材料(事前申請が必要となる)				
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 校長(女性、40代) 同僚教師(女性、30代) 指導対象生徒(2.5年コース35名)			5) 活動使用言語 (モンゴル語) 6) 生活使用言語 (モンゴル語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格() 又は() ・性別()理由: ・学歴(専門学校卒)()理由: 専門的技術・知識を要する ・経歴(実務経験)(3年以上)理由: 実践的な内容の指導に必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	
地域概況	気候(大陸性気候) 気温(-30~30 ℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				



長期 (長期 JV)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 26 年 4 月 25 日

要請番号(JL 051 - 14 - B - 09)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G237)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV
バングラ デシュ	手工芸		27 / 1 27 / 2 27 / 3	年 月 から	

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 首相府 NGO局
	2) 配属先名 (日本語) バプテストミッションスクール (NGO) <input checked="" type="radio"/> NGO
	3) 任地 北ダッカ市内 JICA事務所の所在地(北ダッカ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(北ダッカ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 1977年に設立された女子校で、視覚障害のある女子を対象に初等から高等教育までの一貫教育を行っている。2007年より男女共学に変更されたが、現在のところすべてが女生徒である。生徒数は77名(2013年6月)で、そのうち60名が寮で生活しており、授業以外にも生活面のサポートを行っている。外国の援助状況としては、イギリスのBMS (Baptist Mission Society)や、MODEN-Japanの支援、2001年から2年間JICAボランティア(鍼灸マッサージ)が派遣されている。また、2013年には草の根・人間の安全保障無償資金協力で建物とコンピュータが供与されている。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 過去にJICAボランティアを派遣した実績があり、最近では学校のニーズに合わせて、他の職場に配属されているコンピュータ技術隊員がボランティアベースでコンピュータ指導を行っていた。同校では、一人でも多くの生徒が就職できるように、視覚障害を持つ生徒に対し職業訓練の一環として手工芸品の作成指導を行っているが、指導者の技術レベルは十分とは言えない。そこで、前任のJICAボランティアが派遣され、技術レベルの向上及び、新たな授業内容の提案、実施等を行っている。今後は、同コースを本格的に軌道に乗せるために後任が要請された。例として、現在は紙を切り貼りするなどしつつクリスマスカードの製作を行っている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 職業訓練のインストラクターと共に、以下の活動を行う。 ・視覚障害のある生徒向けの職業訓練授業のカリキュラム(特に手工芸)に対するアドバイスをを行う。 ・授業内容(教育手法)を改善するとともに実習授業に必要な教材・資料、デザイン等の開発を行う。 ・必要に応じて就職等に関わる支援を行う。 高度な技術を必要とするものは実施困難だが、障害程度や年齢等により差があるので、指導する技術は幅広いものとなる。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 手工芸工具一式

資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 校長(女性、30代) 教員3名(女性) 点字作成スタッフ 1名(男性) 生徒(女子、1年生から高校生まで77名)	5) 活動使用言語 (ベンガル語)
	6) 生活使用言語 (ベンガル語)	7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格() 又は() ・性別()理由: ・学歴() ()理由: ・経歴() ()理由: 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域 概況	気候(熱帯モンスーン気候) 気温(10~40 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
----------	--

特記 事項	
----------	--



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 6 月 27 日

要請番号 (JL 215 - 14 - B - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G237)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
コスタ リ カ	手工芸			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1
			27 / 2		
			27 / 3		
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 経済企画省				
	2) 配属先名 (日本語) コレドーレス市役所				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 プンタレーナス県コレドーレス市 JICA事務所の所在地(サンホセ県サンホセ市)から 南東 方向 330 Km 主要都市(サンホセ県サンホセ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 6.5 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 パナマとの国境沿いにあり、自然豊かな人口約5万人の市である。近年の経済成長に伴い物資の流通量増加だけでなく、人口も増加傾向にあり、市や地域はごみ問題への取り組みが急務となっている。2011年からこれまで2名の環境教育JVが活動を実施し、高倉式コンポストの導入や分別・リサイクル活動、小学校での環境教育授業などを実施した。配属先である環境室のコーディネータは、廃棄物処理と3R(リデュース、リユース、リサイクル)に関するJICA研修に2011年に参加後、研修の成果を活かし、市内に15か所の分別ごみ回収ポストを設置した。市の2014年の予算は、370万米ドル。リサイクルセンターは環境室が管理している。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 配属先の管轄する地域から出される一般ごみは約40トン/日あり、焼却などの処理が行われずに埋立地へ運ばれている。2010年7月に廃棄物総合処理法が制定され、国としてもリサイクルに力を入れるようになってきている。8年前に市の中心地にリサイクルセンターが建設され、段ボール、プラスチック、缶、紙パック、アルミニウムなどの仕分けを行っている。廃品回収は、月曜日から金曜日までコミュニティを巡回している。リサイクル廃品の価値を高めるため、廃品を活用した工芸品を作成・販売することで市民のリサイクル廃品への考え方や3Rに対する考え方を改善すると共に、リサイクルセンターを運営する女性グループの収入向上へも結びつけることが課題となっている。2013年1年間でリサイクルセンターで集荷されたごみは、25トンを超えている。その中でも段ボールは、12トン以上、ピンは7トンを超えている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 廃品のリサイクルによる工芸品の指導 ② 地域で開催されるイベントなどへの参加を通じたリサイクル工芸品の紹介、販売支援 ③ 地域住民を対象としたリサイクル工芸品の作成講習会の実施 使用可能なリサイクル用の廃品(段ボール、プラスチック、紙パック、アルミニウム、缶、タイヤなど)				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン(ワード、エクセル、パワーポイント)				
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 ●市役所 環境室コーディネーター 女性 40代 ●ごみ分別所 カウンターパート 女性 40代 経験8年 同僚 12名			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格() 又は() ・性別()理由: ・学歴() ()理由: ・経験() ()理由: 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	
地域 概況	気候(亜寒帯湿潤気候) 気温(20~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記 事項					



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 6 月 13 日

要請番号 (JL 242 - 14 - B - 07)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G237)	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期
ジャマイカ	手工芸			<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	27 / 1
配属概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省/労働・社会保障省				
	2) 配属先名 (日本語) ジャマイカ知的障害者協会ウッドローン特別支援学校				<input checked="" type="radio"/> NGO
	3) 任地 マンチェスター教区マンデビル JICA事務所の所在地(キングストン)から 西 方向 100 Km 主要都市(キングストン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 同協会は、政府に先がけ1956年から知的障害者教育を始めたが、教育省は同協会と連携する形で1974年から特別支援教育を開始した。障害者が社会参加できることを目的に学校教育を施し、卒業後の社会参加促進のための事業も実施している。同協会へこれまで30名以上のボランティアが派遣されている。協会の年予算約8千万円。配属先は協会傘下の特別支援学校で1969年に創立した。同国中央部の中心校として、近隣の学習センターと特別支援学級を合わせ約150名の生徒(6歳～18歳)を教育している。技術科の授業として木工、美術、手工芸、服飾、園芸などがある。過去に養護1名、木工3名のボランティアが派遣された。				
要請概要	1) 要請理由・背景 現在活動中のボランティアが支援して始めた作業所の「Chupse」ブランドのアクセサリ(イヤリング、ネックレス、プレスレットなど)製作などを知的障害者に指導する人材が必要とされている。作業所でのアクセサリの製作販売を通して、学校卒業後職に就けず十分な社会的生活を送れない知的障害者の社会参加を促し、生活の質向上の一助とすることは重要な仕事であり、配属先では作業所の継続を計画している。今後はアクセサリ以外の手工芸品の導入や、現地の人材を生かして作業所を運営する体制を整える必要があるため、現地の人材発掘や、学校から独立した作業所の開設と作業所の安定的な運営にボランティアの支援が要請された。なお、「Chupse」ブランドのアクセサリを製作している作業所はキングストン、サブラマについてマンデビルが3か所目である。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 配属先の作業所において、軽度から中度の知的障害者に対し、基礎的な技術によるアクセサリやその他手工芸品の製作を指導する。 2. アクセサリやその他手工芸品の新製品開発や指導方法の改善を行う。 3. 各種イベントに参加してアクセサリ等の製品を販売する。 3. 配属先本部に派遣される経営管理SVと協働して、作業所の持続性確立を目指す。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 手工芸用工具など				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 校長以下教員16名 アシスタント17名 作業所で働く障害者は現在2名だが、5～6名まで増員予定。			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 () 又は () ・性別 ()理由: ・学歴 (専門学校卒) ()理由: デザインの知識が必要 ・経歴 (実務経験) (3年以上)理由: 製品製作技術が必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	
地域概況	気候(サバナ気候) 気温(19～32 ℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				



長期 (長期 JV)

記入日:平成 26 年 6 月 3 日

要請番号 (JL 242 - 14 - B - 08)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G237)	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	○新規	JOCV/SV	日系/短期
ジャマイカ	手工芸		○交替	●2年	27 / 2
		3 代目	○1年	27 / 3	
			○ヶ月	/	

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省/労働・社会保険省
	2) 配属先名 (日本語) ジャマイカ知的障害者協会 ランダイロ特別支援学校 <input checked="" type="radio"/> NGO
	3) 任地 ウエストモアランド教区サブ라마 JICA事務所の所在地(キングストン)から 西 方向 206 Km 主要都市(キングストン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 4 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 同協会は、政府に先がけ1956年から知的障害者教育を始めたが、教育省は同協会と連携する形で1974年から特別支援教育を開始した。障害者が社会参加できることを目的に学校教育を施し、卒業後の社会参加促進のための事業も実施している。同協会へこれまで30名以上のボランティアが派遣されている。協会の年予算約8千万円。配属先の学校はジャマイカ西部の中心校で、過去に5名のボランティアが派遣され現在手工芸と体育のJV2名が活動している。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 現在活動中のボランティアが支援して始めた作業所の「Chupse」ブランドのアクセサリ(イヤリング、ネックレス、プレスレットなど)製作などを知的障害者に指導する人材が必要とされている。作業所でのアクセサリの製作販売を通して、学校卒業後職に就けず十分な社会的生活を送れない知的障害者の社会参加を促し、生活の質向上の一助とすることは重要な仕事であり、配属先では過去2代のボランティアが継続して指導に当たっている。今後はアクセサリ以外の手工芸品の導入や、現地の人材を生かして作業所を運営する体制を整える必要があるため、現地の人材発掘や、学校から独立した作業所の開設と作業所の安定的な運営にボランティアの支援が要請された。なお、「Chupse」ブランドのアクセサリを製作する作業所はキングストン、サブ라마とマンデビルにある。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 配属先の作業所において、軽度から中度の知的障害者に対し、基礎的な技術によるアクセサリやその他手工芸品の製作を指導する。 2. アクセサリやその他手工芸品の新製品開発や指導方法の改善を行う。 3. 各種イベントに参加してアクセサリ等の製品を販売する。 3. 配属先本部に派遣される経営管理SVと協働して、作業所の持続性確立を目指す。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 紙・布や糸など各種資材、スクリーンプリント、ミシン、小型編機、裁縫道具や文房具類。

要 請 概 要	4) 配属先同僚及び活動対象者 校長・副校長、教員11名、補助教員11名、事務員2名、用務員6名。生徒は中程度の知的障害児が多い。自閉症・ダウン症児も通学している。生徒数130名程度、11クラス。 作業所で働く障害者は現在5名。	5) 活動使用言語 (英語)
		6) 生活使用言語 (英語)
		7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 () 又は () ・性別 ()理由: ・学歴 (専門学校卒) ()理由: デザインの知識が必要 ・経歴 (実務経験) (3年以上)理由: 製品製作技術が必要 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVIは通年対象外

地 域 概 況	気候(サバナ気候) 気温(22~32 ℃位) 電気(●安定 ○不安定 ○なし)
	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(●安定 ○不安定 ○なし)

特 記 事 項	
------------------	--



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 7 月 1 日

要請番号 (JL 242 - 14 - B - 09)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G237)	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
ジャマイカ	手工芸			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1 27 / 2 27 / 3
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省/労働・社会保障省				
	2) 配属先名 (日本語) ジャマイカ知的障害者協会 エッジヒル特別支援学校				<input checked="" type="radio"/> NGO
	3) 任地 セントアン教区セントアンスベイ JICA事務所の所在地 (キングストン) から 北西 方向 90 Km 主要都市 (キングストン) までの交通手段及び所要時間 (バス で約 2 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 同協会は、政府に先がけ1956年から知的障害者教育を始めた。その後、教育省は同協会と連携する形で1974年から特別支援教育を開始した。障害者が社会参加できることを目的に学校教育を施し、卒業後の社会参加促進のための事業も実施している。同協会へこれまで30名以上のボランティアが派遣された。年予算約8千万円。他地域にある同協会傘下の2校で手工芸のボランティアが作業所の運営にあたっており、体育ボランティアも含めたグループ型派遣を形成している。配属先は協会傘下の特別支援学校で1976年に創立した。分校を合わせて約140名の生徒がいる。過去に養護、体育などのボランティアが延べ6名派遣された。				
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先の学校で担任教師が教えているアート&クラフトの授業支援や、卒業生をはじめとした地域の知的障害者を対象に手工芸の訓練を行える人材が必要とされている。また、キングストン本校でボランティアが支援して始めた「Chupse」ブランドのアクセサリー(イヤリング、ネックレス、ブレスレットなど)の製作を配属先で指導することも求められている。アクセサリーの製作販売を通して、学校卒業後、職に就けずに十分な社会的生活を送れない知的障害者の社会参加を促し生活の質向上の一助とすることは重要な仕事であり、配属先ではキングストン校、サブラマ校、マンデビル校と同様な作業所の開設を計画している。協会は雇用中心の社会参加以外にもレクリエーションを通じた社会参加も推進しようとしているため、展示即売会などの催しを企画することも期待されている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 授業で生徒に手工芸技術を教えながら教員への指導も行う。 2. 卒業生や地域の知的障害者とコミュニティの支援を得ながら手工芸品製作グループを作る。 3. 手工芸品製作グループへ指導を行いアクセサリーなどを製作する。 4. 販売促進のためのマーケティングや各種イベントでの販売を支援する。 5. 新しいデザインの製品を試作しながら商品開発を行う。 6. 配属先本部に派遣される経営管理SVと協働して、作業所の開設と持続性確立を目指す。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 手工芸教授に必要な道具と材料				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 上司: 校長 同僚: 職業訓練プログラムコーディネーター 活動対象者: 学生、教師			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由: デザインの知識が必要 ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 製品製作技術が必要 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	
地域概況	気候(サバナ気候) 気温(22~32 ℃位)			電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	
	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)			水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	
特記事項					



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 8 月 1 日

要請番号(JL 745 - 14 - B - 08)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国籍	職種 (コード G237)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 4 代目	JOCV/SV	日系/短期
キルギス	手工芸			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1
			27 / 2		
			27 / 3		
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) ドボル村役場				
	2) 配属先名 (日本語) 地域組合「さをり」				<input checked="" type="radio"/> NGO
	3) 任地 ナリン州アリシュ村 JICA事務所の所在地(ビシュケク市)から 南東 方向 330 Km 主要都市(ナリン市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 ナリン州は、キルギス7州の中で最も自然環境が厳しく、住民の生活向上や地域活性化が必要とされている。当組合は初代JV(2008年7月)と女性達により設立され、「さをり織り」と呼ばれる織物を製作する女性組織が存在し、3代のJV派遣が行われた。これまでに派遣されたJVの活動の結果、首都や他州でも、無名の村の女性達による「一村一品運動」の好例として知名度が上がっている。年間予算30万ソム(約60万円)、年間受注額20~25万ソム(約50万円)。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 3代目JVは効率的生産・製品の品質向上・販路拡大・組織運営強化等の課題に幅広く取り組み、自主運営が軌道に乗って来ている。今後は地域組合「さをり」が、ナリン州での一村一品モデル組合として独り立ちするための支援と、その他女性グループや学校の手芸芸クラス等での技術指導も求められており、本要請へと繋がった。また、インククリ州では2012年1月~2015年1月まで、JICA技術協力による「一村一品運動」が展開中であり、首都や地方都市の一村一品ショップでは、女性たちによって生産された商品が販売されている。外国人の視点に立った、付加価値のついたアイデア訴求や、収益・経費の管理等における経営管理支援も可能な範囲で指導が求められている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 主に地域組合のメンバーと協働し、以下の活動を行う。 1) 織物づくりと作業改善の提案及び実施。 2) 外国人観光客を対象とした織物・手工芸品づくり。 3) 手工芸に興味がある女性へのセミナー開催及び技術指導(一村一品運動の普及)。 4) 職業訓練校等の手工芸クラス等での技術指導。 5) 現金・預金管理、収益・経費等における改善提案や指導。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 自宅近くの工房:織り機5台、ミシン3台				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・組合メンバー:村の女性達(20-40代) ・機材組立担当:メンバーの夫(40代) ・学校の手芸芸クラスや手工芸(一村一品)に興味のある女性達			5) 活動使用言語 (キルギス語) 6) 生活使用言語 (キルギス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)	
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格() 又は() ・性別(女性)理由:活動対象者が主に村女性のため ・学歴(専門学校卒)()理由:専門知識が求められるため ・経歴(実務経験)(2年以上)理由:技術指導を行うため 理由:			活動上の単車/自転車 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVIは通年対象外	
地域概況	気候(亜寒帯湿潤気候) 気温(-25~25 °C位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項	村落部の村でのホームステイとなる。				



長期 (長期 JV)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 26 年 8 月 6 日

要請番号 (JL 027 - 14 - B - 21)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G238)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV
ベトナム	料理		<input checked="" type="radio"/> 27 / 1 <input type="radio"/> 27 / 2 <input type="radio"/> /	年 月 から	

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) ベトナム女性連合
	2) 配属先名 (日本語) ハイフォン市女性連合 <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ハイフォン市(中央直轄市) JICA事務所の所在地(ハノイ市)から 東 方向 100 Km 主要都市(ハノイ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2.5 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、総務・法政・家族社会・所得向上等7つの部と法律相談・職業訓練の2つのセンターから成る。女性の権利を擁護することを目的として、幸福な家庭を築くためのノウハウを伝え、収入向上に結びつく支援を実施するほか、環境保全に関する啓発活動を行っている。職業訓練センターの主な業務は、収入向上支援として女性への職業訓練を行うことであり、料理、飲み物、デザート、花飾り、メイクアップ等のコースが開設されている。このうち料理は、3ヶ月間コースを年3回実施している人気のコースであり、現在、西洋・アジア料理、韓国料理コースを開催している。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 同地には日本料理屋が数店舗あるが、日本からの投資が増加傾向にあり、今後店舗が増えていくものと思われる。同センターでは、女性の雇用促進を目指し、日本食の作り方を学びたいという多くの女性の声を反映し、日本食コースの開設に意欲的である。しかしながら同センター講師には日本食の知識・技術がなく、指導力のある日本人ボランティアの協力依頼があった。 ボランティアは、最初は教師を対象に日本食(にぎり・巻き寿司、天ぷら、出し巻き卵、蒲焼、焼き鮭、鶏唐揚、照り焼き、焼肉、茶碗蒸し、お好み焼き、漬物等)を伝授し、その後学生にも初級・中級レベルに分けて教えることが求められている。現地講師もボランティアと共に教室でアシストし、将来的には講師自身が和食教室を教えられるように、体系的に支援を行うことが期待されている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 赴任当初は語学力の向上、同僚との良好な関係構築、現状把握に重点を置きつつ、以下の活動を同僚と協力して行う。 ・学生へ日本料理を直接指導する(まずは初級コースを、次の段階として中級コースも併設予定、各コースとも2.5~3時間/コマ×週3回×3ヶ月) ・指導者に向け、日本食の料理法を伝授する。 ・日本食コースの教材・カリキュラム作成を支援する。 ・このほか、配属先の調理イベントの開催・運営支援などを必要性に応じて支援する。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 調理室4室:ガスレンジ各2~4台、基本的な調理器具、なお、日本食に必要な道具・食器・食材等はボランティア赴任後に配属先が調達予定

4) 配属先同僚及び活動対象者 ・副会長(女性/40代後半) ・職業訓練センター長(女性/50代/学士/経験10年) ・料理講師15名(女性/数名はセンター勤務、他は郡レベル勤務/30代~50代/料理指導者育成機関卒/経験15年~30年) ・生徒50名(2コース/①西洋・アジア料理②韓国料理/20代~30代)	5) 活動使用言語 (ベトナム語) 6) 生活使用言語 (ベトナム語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)
---	--

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 () 又は () ・性別 () 理由: () ・学歴 (高卒) () 理由: 同僚とのバランス ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 活動への助言を行うため ・ カリキュラム・教材を作成できること 理由: 教室の開設準備のため	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(温暖冬季少雨気候) 気温(10~35 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	---

特記事項 基本的な包丁さばき、衛生・安全面、食材の選び方、飾りつけに関しては、現地講師が最初の4日間で教えている。

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 JV)

記入日:平成 26 年 8 月 5 日

要請番号(JL 045 - 14 - B - 40)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G238)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
モンゴル	料理			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1
				27 / 2	
				27 / 3	

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育・科学省
	2) 配属先名 (日本語) フブスグル県職業訓練校 <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 フブスグル県ムルン JICA事務所の所在地(ウランバートル)から 北西 方向 670 Km 主要都市(ムルン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 1973年に創立された同校は、年間予算8千4百万円程度、即戦力となる人材育成を目標とした公立職業訓練校。13の訓練コース(建設・植林・料理・美容師等)があり、教師38名、他職員27名が、生徒約900名を指導している。中学卒業生以上が入校する資格を持ち、1年訓練コースと2.5年訓練コースのいずれかを選択できる。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 フブスグル県では、県下の観光産業促進と、それに伴う外食産業の拡充をめざしている。しかし、当地外食産業の実態は、料理の種類が乏しく、単調な味付けが基本となっており、衛生・安全管理や栄養面の知識も十分とは言えない。また、外食産業を担う人材を育成する同校の料理訓練内容においても状況は同様であり、料理コースの更なる拡充と同分野の人材育成を目的としてJVが要請された。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 【赴任初期】 ① 同僚の行う授業に参加しながら、既存の料理コース内容を理解する。 【活動中期～後期】 ② 授業を担当し、可能な範囲でレシピ拡充(日本料理や他国料理紹介等)をめざす。 ③ 既存の料理指導に加え、刃物や調理機器取扱い上の安全対策や、衛生管理面でも可能な範囲で指導する。 ※ 担当授業数は赴任後、配属先と相談しながら決定されるが、週5時間以上は期待されている。

要 請 概 要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 (全て業務用サイズ)オープン・コンロ・冷蔵庫・冷凍庫・作業デスク・攪拌機・給湯器(2010年アジア開発銀行からの機材供与)	5) 活動使用言語 (モンゴル語)
	4) 配属先同僚及び活動対象者 校長(女性、40代) 同僚教師(女性、40代) 同僚教師(女性、40代) 指導対象生徒(2.5年コースの1年生30名、2年生30名の合計60名)	6) 生活使用言語 (モンゴル語)

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許/資格 () 又は () ・ 性別 () 理由: ・ 学歴 () () 理由: ・ 経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 実践的な内容の指導に必要 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVIは通年対象外

地域 概況	気候(ステップ気候) 気温(-30~30 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
----------	--

特記 事項	
----------	--



長期 (長期 JV)

記入日:平成 26 年 6 月 12 日

要請番号 (JL 051 - 14 - B - 22)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G238)	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 <input type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期
バングラ デシュ	料理			27 / 1	年 月 から
				27 / 2	
		27 / 3			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 民間航空・観光省				
	2) 配属先名 (日本語) ビーマン フライト ケータリングセンター				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 北ダッカ市 JICA事務所の所在地(北ダッカ市)から 北 方向 5 Km 主要都市(北ダッカ市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 北ダッカ市にあるシャージャラル国際空港内に施設を構えるビーマン フライト ケータリングセンターは、航空機の旅客に対し、安全かつ質の高い機内食を提供する目的で1989年に創設された。バングラデシュ国内では、唯一のケータリング施設であり、国際的な食品安全性基準を満たす機内食の提供に努めている。これまで、国営航空ビーマンバングラデシュ以外では、トルコ航空、マレーシア航空、ドラゴン航空などへ供給した実績がある。ボランティアの派遣は今回が初めて。年間予算は、約82億円。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 現在、国営ビーマンバングラデシュ航空並びにドラゴン航空へ機内食の提供を行っているが、今後日本人をはじめとする各国からの観光客増加を見込んでいる。現在、勤続32年のベテランのベンガル人シェフがいるが、料理のレパートリーが少なく、スパイスの効いた濃い味付けが基本である。また、各国料理に関しては、料理番組や料理本、WEBサイトで学んだ程度の知識であり、ブランド力の強化、市場参入機会の拡大を目指し、魅力的な料理のバリエーションや盛り付けに至るまで幅広い技術や知識レベルの向上が求められている。シェフに対する各国料理の紹介や新しいレシピの導入など、技術と経験を持った日本人ボランティアの協力を強く望んでいる。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①日本料理をはじめとする各国料理の紹介・技術指導、レシピの拡充。 ②既存レシピや調理方法の改善・向上への提言・助言。 ③旅客のニーズに合わせた調理技術向上。 ④バングラデシュ料理と他国料理を組み合わせた創作料理の開発。 ⑤新設訓練機関において授業を担当し、将来同センターで活躍する人材の育成サポート。(開始時期未定)				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 調理設備、調理具一式。ジェネレーター。				
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許/資格 () 又は () ・ 性別 () 理由: () ・ 学歴 () () 理由: () ・ 経歴 () () 理由: () ・ 類似の実務経験3年以上 理由: 国営センターで技術指導を行うため			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVIは通年対象外	
地域 概況	気候(熱帯モンスーン気候) 気温(10~40 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記 事項					



長期 (長期 JV)

記入日:平成 26 年 6 月 19 日

要請番号(JL 424 - 14- B - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G238)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	JOCV/SV	日系/短期
ヨルダン	料理			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1	年 月 から
					27 / 2	
			27 / 3			

配属概要	1) 受入省庁名 (日本語) 労働省
	2) 配属先名 (日本語) 職業訓練公社 ペトラ ホスピタリティ訓練所 <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ワディムサ JICA事務所の所在地(アンマン)から 南 方向 250 Km 主要都市(ワディムサ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 職業訓練公社(VTC)は職業訓練サービスの提供、雇用促進を目的に1976年に設立され、所管する国内約50の訓練校で学生や社会人の技術力向上に取り組んでいる。年間予算は約13億円。2006年11月～2010年11月、本部と3モデル訓練所を対象として職業訓練マネジメント強化プロジェクトが実施された。現在、VTCの訓練所でJV5名(経済・市場調査、服飾、美容師)及びSV2名(冷凍機器・空調、電子工学)が活動中。ペトラ ホスピタリティ訓練所にはホスピタリティ/調理、服飾、美容等の訓練コースがあり、訓練生は約50名である。ホスピタリティ/調理コースは米国国際開発庁からの支援(財政・カリキュラム)がある。

要請概要	1) 要請理由・背景 ヨルダンを持続的な経済発展と国際競争力強化のため、投資促進、工業団地建設等の工業振興政策をとっている。また労働者の生産性、製品水準の向上、労働市場のニーズに十分対応しうる人材育成のための職業教育の充実を、開発計画の主要目標と位置づけている。ヨルダンでは、失業率が問題となっているが、特に若年層の失業率が30-40%と高い。ワディムサはヨルダン随一の観光名所のペトラ遺跡があり、市内には多数の観光ホテルがある。この観光ホテルが実質的な当訓練所の卒業生の主な就職先候補となっている。当訓練所はよりホテルのニーズに即した調理・接客技術の習得が訓練生の技術の付加価値向上につながり、ひいては訓練生の就職率向上に寄与すると考え、本要請があがった。ボランティアにはホスピタリティ/調理コース(1年間)訓練生への中華料理調理技術及び接客技術の指導が期待されている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ペトラ ホスピタリティ訓練所において、以下の活動を同僚インストラクターと協力して行う。 1. 訓練生への中華料理調理技術の指導 2. 訓練生へのおもてなし技術の指導 3. インストラクターの知識・指導力向上のための支援 4. ホテルの新人採用にかかるニーズ調査 5. 訓練所における調理イベントの開催及び運営支援 尚、赴任当初は語学力の向上、同僚との良好な関係構築及び、現状把握に注力する。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実習用レストラン、調理室、冷蔵庫、冷凍庫、レンジ、オーブン、ガスコンロ、その他基本的調理器具

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 同僚が男性の為 ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: インストラクター指導の為 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・校長(男性、50代) ・担当インストラクター1名(男性、30代) ・訓練生 約30名(男女、10代～20代) ・他コースの指導員、事務員など(男女約20名)	5) 活動使用言語 (アラビア語) 6) 生活使用言語 (アラビア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:)
	現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	

地域概況	気候(地中海性気候) 気温(0~50 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項	
------	--



長期 (長期 JV)

記入日:平成 26 年 8 月 8 日

要請番号(JL 469 - 14 - B - 10)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G238)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	派遣希望時期	JOCV/SV
モロッコ	料理			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1
					年 月 から
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 連帯・女性・家族・社会開発省				
	2) 配属先名 (日本語) 国民共済事業団タブラ社会自立促進センター				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 テトゥアン県テトゥアン市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 北東 方向 300 Km 主要都市(タンジェ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.5 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は2009年に開設された職業訓練センター。15~30歳までの学業中退者や経済・社会的に困難な状況にある青年の社会的自立を目的に識字ならび美容、料理、コンピューター、裁縫等の訓練を行う。年間250名の青年を受け入れている。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 同センターでは訓練終了後の就職の場として製菓工場や菓子店等の人気が高く、雇用の機会も多いことから、製菓技術習得の要望が高い。そこで、料理専任講師(料理全般)と共同で製菓初心者を対象とした、授業案・カリキュラム作成および製菓実習指導ができる人材が求められている。なお、料理の職業訓練は年間90名(年3回、各30名程度)を受け入れており、訓練生は訓練期間中の3か月間センター内訓練を受講した後、11か月間、地元菓子店等で実習。終了後に地元製菓店や大型スーパーの製菓コーナー等への就職を目指す。ボランティアはセンター内の指導の他、実習先でのフォローアップも求められている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ボランティアはタブラ社会自立促進センターの料理専任講師と共同で以下の活動を行う。 - 製菓の年間指導計画、授業計画の策定 - 製菓の調理実習指導 - 清掃、器具の管理等の調理実習室管理指導 - 図入りでわかりやすい授業・実習テキスト、レシピの作成				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 調理台、コンロ、電子レンジ、オープン、冷蔵庫、流し台、ミキサーなど調理実習に必要な機材				
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許/資格 () 又は () ・ 性別 () 理由: _____ ・ 学歴 (高等専門学校卒) () 理由: 指導が含まれるため ・ 経験 () () 理由: _____ ・ 料理ができるだけでなく指導ができること 理由: 実習指導が主な業務のため			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	
地域概況	気候(地中海性気候) 気温(5~35 ℃位)			電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 JV)

記入日:平成 26 年 8 月 4 日

要請番号 (JL 475 - 14 - B - 09)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G238)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
チュニジア	料理			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 2
				27 / 3	
				/	

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 観光省
	2) 配属先名 (日本語) ジェルバ観光職業訓練センター(CFT) <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 メドニン県フームスーク市 JICA事務所の所在地(チュニス市)から 南 方向 500 Km 主要都市(フームスーク市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.4 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、観光省観光局(ONTT)管轄で、1976年にドイツの支援により設立された観光業に特化した専門学校である。同種の専門学校は、チュニジア全土に8つあり、同配属先は、チュニジア南部のリゾート、ジェルバ島フームスーク市に位置する。同校には、料理、レストラン・バー、ホテル受付などの学科があり、学生は学内の授業や提携先ホテルでの実習とを半々で行っている。年間予算は約1500万円。現在、仏国により施設改築の支援を受けている。JICAボランティアの派遣は今回が初めてであるが、系列校に料理のSVが1名派遣中。また、現在、技術協力「観光プロモーション能力強化プロジェクト」が南部を対象に実施されている。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 チュニジアにおいては、観光業はGDPの7%、雇用は37万人を占める重要な産業で、2011年1月の革命後は観光客が多少減少したものの、毎年600万人以上の観光客を受入れている。その中で、同配属先が位置するジェルバ島は、チュニジア屈指の地中海ビーチリゾートとしてヨーロッパ人に人気の観光地で、大型リゾートホテルなどが約140軒立ち並び、約7万人の雇用を創出している。その様な背景の下、日本料理やアジア料理を中心として観光客のニーズに合ったサービスを提供出来る人材育成を目指して、本要請が上げられた。同技術の指導は、配属先の生徒のみならず、地域の観光ホテルの調理師らに対しても求められており、同地域の観光業のさらなる活性化を目指している。因みに、チュニジアにおいては、日本・中華料理を提供出来るホテルやレストランは未だ殆どないと言える。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先において同僚教員と共に、以下の業務を行う。 ①料理学科の学生や同僚教員を対象に、日本料理やアジア料理を中心として、学生たちのレベルや観光客のニーズに合わせた調理技術の指導を行う。 ②地域の観光ホテルの調理師を対象に、上記料理のセミナーを開催し、技術指導を行う。 ③果物や野菜などのデコレーション(カービング技術など)や盛り付けに関する指導を行う。 ④学生や同僚教員に対し、調理機材の適切な維持管理に関する助言を行う。 ⑤その他、適宜レストランサービスの向上に係る助言を行う。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実習用調理室、設備一式(冷蔵庫、冷凍庫、レンジ、オープン、ガスコンロ、その他調理具一式)、実習用レストランなど
4) 配属先同僚及び活動対象者 ・校長:50代、男性1名 ・教員:約25名 ・料理学科同僚教員:男性3名、30~60代 ・学生:約200名、16~25才程度、うち対象指導である料理学科の学生は約40名 ・事務員など職員:約30名	5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:)

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格() 又は() ・性別()理由: ・学歴()理由: ・経歴(実務経験)(5年以上)理由:業務上必要 学生などへの指導経験 理由:業務上必要	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(地中海性気候) 気温(5~45 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項 現地においては、仏語も通用するが一般的に口語においては、アラビア語チュニジア方言が使われている。なお、正則アラビア語とアラビア語チュニジア方言には隔たりがある



長期 (長期 JV)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号 (JL 554 - 14 - B - 09)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G238)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3	日系/短期 年 月 から

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育・科学・技術省 2) 配属先名 (日本語) ムタレ技術工科専門学校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ムタレ JICA事務所の所在地(ハラレ)から 南東 方向 270 Km 主要都市(ムタレ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先はモザンビークとの国境に接するジンバブエ東部の都市ムタレにある公立の総合技術専門学校。全校生徒数は、約2000人。日本の高校卒業レベルの学生が入学するほか、地域の産業界から技術習得のために学びに来る社会人も少なくない。年間予算は約1,500万米ドル。2012年より前任者を含む3名のJV(料理、デザイン、PCインストラクター)が派遣されている。他の外国からの援助はない。
-----------------------	---

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 配属先であるムタレ技術工科専門学校は、観光専門コースを開講しており、主要科目の一つに調理コースがある。ジンバブエは、ビクトリアの滝をはじめとする世界有数の観光地を有し、欧米からの観光客も多く、観光産業界における人材育成の要望が高まっている。観光客が利用するホテルやレストランでは、外国人向けメニューの導入が期待されている。近年、観光客の日本料理への関心が高まっているが、日本料理の指導者がいないため、技術と経験を持った日本人ボランティアの協力要請が出され2012年よりJVが派遣されている。前任者の活動は配属先から評価され、引き続き、日本料理の指導者の派遣要請が出された。ビクトリアの滝の高級ホテルでは、日本人ツアー客も多く、日本料理を提供できる人材の育成が期待されている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 指導要領の作成支援 2. 指導要領作成のための調査 3. 学生への直接指導(座学・実習) 4. 試験問題の作成と採点 5. 新たなメニュー開発 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コンロ、フライヤー、オープンレンジ等(すべて電気) 4) 配属先同僚及び活動対象者 講師: 短大卒 7名(25歳～40歳)男5女2 学生: 18～22歳程度 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)
------------------	---

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 () 又は (調理師) ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由: 料理の指導のため ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 指導対象のレベルに対応 ・ 日本料理での経験 理由: 日本料理がメインのため	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外
-----------------------	---	---

地 域 概 況	気候(温帯夏雨気候) 気温(5～25℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------------------	---

特 記 事 項	住居については複数の同性隊員とハウスシェアとなる可能性がある。
------------------	---------------------------------



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号 (JL. 554 - 14- B - 10)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G238)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3	日系/短期 年 月 から
ジンバブエ	料理					
1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育・科学・技術省 2) 配属先名 (日本語) ハラレ技術工科専門学校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ハラレ JICA事務所の所在地 (ハラレ) から 北 方向 0 Km 主要都市 (ハラレ) までの交通手段及び所要時間 (徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は国立の総合技術工科専門学校である。土木、建築、農業、電気、機械、自動車、印刷デザイン、観光など11学部を有しており、国内外で産業界で活躍する人材育成を行っている。観光学部は、接客サービスと調理をメインに観光産業への人材育成を行っている。これまでに9名のJVが同校に派遣された。観光学部への派遣は本件が初めてとなる。同校の年間予算は700万米ドル。						
要請概要	1) 要請理由・背景 ジンバブエは、ビクトリアの滝をはじめとする世界有数の観光地を有し、欧米からの観光客も多く、観光産業界における人材育成の要望が高まっている。観光客が利用するホテルやレストランでは、外国人向けメニューの導入が期待されている。近年、観光客の日本料理への関心が高まっているが、日本料理の指導者がいないため、技術と経験を持った日本人ボランティアの協力要請が出され2012年より地方都市ムタレの専門学校へJVが派遣されている。ハラレ技術工科専門学校からも、同様に料理隊員の要請が出された。本件は、外国人観光客をターゲットにした、日本料理などのサービスを提供できる人材を育成することを目的としている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 講師および学生への直接指導(座学・実習) 2. 試験問題の作成と採点 3. 新たなメニュー開発 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コンロ、大鍋、オーブンレンジ等(すべて電気)、調理器具一式 4) 配属先同僚及び活動対象者 講師: 17名(男13女4) 経験年数1年~13年 年齢20代~50代 学生: 18~22歳程度 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 () 又は (調理師) ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由: 調理の指導のため ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 指導対象のレベルに対応 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVIは通年対象外		
地域概況	気候(温帯夏雨気候) 気温(0~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	住居については複数の同性隊員とハウスシェアとなる可能性がある。					



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号(JL 554 - 14- B - 11)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G238)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3	日系/短期 年 月 から
ジンバブエ	料理					
要請理由・背景 配属先である観光サービス学科の調理コースは、通常の調理の他に、独立した製パン、製菓の教室を有しており、この教室において製パン、製菓に特化したボランティアの要請が出された。ジンバブエにおいて同分野の技術は決して低くはないが、日常的な主食となるパンは画一的であり、日本のようなバリエーションは少ない。本件は、観光サービスという視点から、外国人観光客によるこぼれる商品の開発と製法の紹介を想定している。なお、ジンバブエにおいては、観光産業への人材育成として、日本料理を指導するJVを派遣している。						
1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育・科学・技術省		2) 配属先名 (日本語) ハラレ技術工科専門学校				<input type="radio"/> NGO
3) 任地 ハラレ JICA事務所の所在地(ハラレ)から 北 方向 0 Km 主要都市(ハラレ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)						
4) 配属先の規模・事業内容 配属先は国立の総合技術工科専門学校である。土木、建築、農業、電気、機械、自動車、印刷デザイン、観光など11学部を有しており、国内外で産業界で活躍する人材育成を行っている。観光学部は、接客サービスと調理をメインに観光産業への人材育成を行っている。これまでに9名のJVが同校に派遣された。観光学部への派遣は本件が初めてとなる。同校の年間予算は700万米ドル。						
1) 要請理由・背景 配属先である観光サービス学科の調理コースは、通常の調理の他に、独立した製パン、製菓の教室を有しており、この教室において製パン、製菓に特化したボランティアの要請が出された。ジンバブエにおいて同分野の技術は決して低くはないが、日常的な主食となるパンは画一的であり、日本のようなバリエーションは少ない。本件は、観光サービスという視点から、外国人観光客によるこぼれる商品の開発と製法の紹介を想定している。なお、ジンバブエにおいては、観光産業への人材育成として、日本料理を指導するJVを派遣している。						
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 学生への直接指導(座学・実習) 2. 試験問題の作成と採点 3. 新たなメニュー開発						
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コンロ、パン用発酵機、オープンレンジ等(すべて電気)、調理器具一式						
4) 配属先同僚及び活動対象者 講師: 17名(男13女4) 経験年数1年~13年 年齢20代~50代 学生: 18~22歳程度				5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)		
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 () 又は (調理師) ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由: 製パン、製菓を担当するため ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 指導対象のレベルに対応 ・ 製菓衛生師 理由: 専門的知識が求められるため				活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域概況 気候(温帯夏雨気候) 気温(0~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項 住居については複数の同性隊員とハウスシェアとなる可能性がある。						



長期 (長期 JV)

記入日:平成 26 年 7 月 8 日

要請番号(JL 745 - 14 - B - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G238)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
キルギス	料理			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1
			27 / 2		
			27 / 3		

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 青年・労働・雇用省
	2) 配属先名 (日本語) 第2番職業訓練学校 <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 イシククリ州カラコル市 JICA事務所の所在地(ビシュケク市)から 東 方向 400 Km 主要都市(カラコル市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 1957年に創立された同校は、職業能力開発・人材育成を目的とした公立職業訓練校である。2014年現在、10種類の訓練コース(自動車・服飾・料理・農業機械等)が開講され、約520名の学生が在籍している。教員の総数は57名。高校卒業生を対象とした1年の訓練コースと、中学卒業生を対象とした3ヶ月の短期訓練コースが存在する。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 イシククリ州カラコル市は、イシククリ湖での保養・山岳登山・ウィンタースポーツなどを目的として、観光客が年間を通して訪れる場所である。近年、観光客増加に伴いカフェ・レストランなどの外食産業や、ホテル・ゲストハウス等の宿泊施設が増加傾向にある。しかし、キルギス料理をはじめ当地外食産業の実態は、料理の種類は限られ、衛生面・栄養面・レシピ等の知識も十分とは言えない。当校を卒業した学生は、当地をはじめ首都・地方都市のレストランやホテル等に勤めているものの、当校の調理コースの更なる拡充と同分野の人材能力開発、当地に訪れる観光客向けのメニュー考案などを目的に、協力要請がなされた。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 生徒・同僚となる教員に対し、以下の活動を実施する。また、NGO一村一品組合と連携した土産用菓子商品開発も期待されている。 1) 同僚の行う授業(座学・実習)、当校の調理コースの内容を把握し、調理実習・衛生管理・ホテルサービス等の授業改善の提案・実施/技術指導を行う(短期コース含む)。 2) 日本料理や他国料理の紹介や調理指導、レシピ作成を行う。 3) 地域の食材を活かした現地で広く調理可能な新メニューの考案を行う。 4) 地域の食材や果実等を活用した、観光客向け土産用菓子等の商品開発(NGO 一村一品組合との連携)を行う。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 調理台、コンロ、電子レンジ、オープン、冷蔵庫、流し台、ミキサーなど調理実習に必要な機材

資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 学校長 男性 50歳代 副校長 女性 40歳代 料理コースの教員 女性40歳代・30歳代 2名 その他職員約50名	5) 活動使用言語 (キルギス語)
		6) 生活使用言語 (キルギス語)
		7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:)

地 域 概 況	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格() 又は() ・性別()理由: ・学歴(専門学校卒)()理由:専門的知識が必要なため ・経歴(実務経験)(3年以上)理由:調理指導を生徒・講師に行うため ・指導経験があると望ましい 理由:生徒や講師へ調理指導を行うため	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

特 記 事 項	気候(亜寒帯冬季少雨気候) 気温(-20~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 8 月 1 日

要請番号 (JL 239 - 14 - B - 25)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G239)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	JOCV/SV	日系/短期
ホンジュラス	服飾			<input type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省				
	2) 配属先名 (日本語) フェデリコ・カナレス技術中高校				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 インティブカ県ヘスス・デ・オトロ市 JICA事務所の所在地 (テグシガルパ市) から 西 方向 170 Km 主要都市 (シグアデペケ市) までの交通手段及び所要時間 (バス で約 0.5 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 地域産業の育成、若者の雇用機会獲得への寄与を目的に1962年に設立された。同県内で最大規模の職業訓練校で、県内外から中学相当の基礎科と高校相当の高等科に生徒が集まる。服飾科、農畜産科、自動車整備科、機械加工科、溶接科、電気科がある。生徒総数930人。教師数47人。EUからの援助により各科の資機材は最新のものが整備されている。年間予算は教育省、父母会から約2万米ドル。その他各科で販売した収益金で運営。				
要請概要	1) 要請理由・背景 同校には近年、EUから服飾科に工業用ミシンを含む資機材一式が供与されたが、インストラクターの工業用縫製に関する知識・技術不足のため、これら機材を最大限有効活用できていない現状がある。ホンジュラスの工業部門(輸出)では繊維業がマキラードラ(保税加工区)を中心に大きな割合を占めるところ、同校も工業用縫製の技術指導に力を入れているほか、パイロット的に学校内に服飾の小規模企業を起業し、学校運営における予算面での自立化を目指したいとしている。ボランティアには、工業縫製に係る技術的支援が期待されている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 授業観察を通じ改善点の指摘や授業を活性化するためのアイデア(新しいデザイン等)の提供を行う。 2. 工業用縫製におけるデザイン、パターン作図、縫製技術について、インストラクターや生徒に技術的アドバイスを与える。 3. 授業を効果的にするため、簡単な教材(マニュアル類)の作成等を支援する。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 工業用直線縫いミシン、ロックミシン、バキューム付きアイロン、工業用電動刺繍ミシン等				
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 服飾科主任、女性、50代 同僚教師、女性7名、30~40代			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由: 中級以上の服飾技術は必要 ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 服飾の応用技術が求められる 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	
地域概況	気候(温暖湿潤気候) 気温(20~35 ℃位) 通信 (<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)			電気 (<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道 (<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	
特記事項					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 JV)

記入日:平成 26 年 8 月 4 日

要請番号 (JL 324 - 14 - B - 28)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G239)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	JOCV/SV	日系/短期
パラグアイ	服飾			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1
			27 / 2		
			27 / 3		

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 企画庁
	2) 配属先名 (日本語) パラグアイ伝統工芸院 <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 アスンシオン市 JICA事務所の所在地(アスンシオン市)から 北 方向 0 Km 主要都市(アスンシオン市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 パラグアイ伝統工芸院 (IPA) は伝統工芸品 (アオポイ、エンカヘジュ、ニヤンドゥティなどの繊維製品、木工製品、皮革製品、銀製品等) の生産促進と発展、生産者への支援と保護、市場開拓などを目的として設立された。全国に訓練センターを設け、技術的な問題についての支援や研修も実施している。活動先となる「アルテサニア・ロガ」はその一つで、パラグアイ民芸品の販売も行っている。これまでに手工芸品品質管理SV、服飾SV、縫製業品質管理SV、輸出振興SVが派遣された。年間予算は約220万米ドル(2013年)。

要請概要	1) 要請理由・背景 パラグアイ伝統工芸院では、これまで縫製関連のSVが3代にわたって技術指導などを行ってきた。徐々に技術は高まってきたものの、仕上げやデザインに関してまだ技術的に不足している部分があり、魅力的な民芸品は多いが、品質的に改良の余地は依然として大きい。機材はそろっているものの、外国人にも納得してもらえ、将来的に輸出できるような品質に高めるため、また指導者の人材育成のためには継続的な支援が必要であるため、本要請がなされた。
	2) 予定されている活動内容 (最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①衣料及び民芸品の質を高めるため、配属先のミシン操作に係る技術指導を行う ②製品の仕上げ部分の技術向上に向けた指導を行う ③アスンシオン近郊の地方事務所と同様の指導を行う ④デザインに関する提案を行う

要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 直線用ミシン、オーバロックミシン、穴かがりミシン、刺繍用ミシン、接着プレス、裁断機、
	4) 配属先同僚及び活動対象者 所長 女性 40代 宣伝・開発部長 男性 総務・財務部長 男性 教育部長 女性 秘書 女性 インストラクター 2名(他センターに計7名)

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由:業務遂行上必要なため ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由:業務遂行上必要なため ・ 服飾専攻 理由:専門的知識が必要なため	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(亜熱帯気候) 気温(0~40 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	---

特記事項	
------	--



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 6 月 17 日

要請番号(JL 506 - 14- B - 08)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G239)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3	日系/短期 年 月 から
エチオピア	服飾		● 新規 ○ 交替 代目	○ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 1 27 / 2 27 / 3	年 月 から
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) アムハラ州職業訓練庁					
	2) 配属先名 (日本語) バハルダール技術専門学校				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 バハルダール JICA事務所の所在地(アディスアベバ)から 北 方向 580 Km 主要都市(バハルダール)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 エチオピアには5つの公立技術専門学校があり、同校はアムハラ州バハルダールにある技術専門学校である。平均2500～3000人の学生が在学しており、40以上の業種にわたり座学と実技を通じた職業訓練教育を行っている。年間予算は約450,000USD。他にもUNICEFから約50,000USDの援助を受けている。また、これまで複数のKOICAボランティアを受け入れており、現在もコンピュータ関連のボランティアが活動している。なお同校にはJICAとEKI(Ethiopia Kaizen Institute)が実施するカイゼントレーニングに参加した経験をもつ講師がいる。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 エチオピア政府の国家開発計画では、市場のニーズに見合った質の高い労働力を輩出することが重要視されており、技術者の養成が大きな課題となっている。配属先となる技術専門学校では、基礎的な知識、技術は指導しているものの、時代の流れや技術が進歩するにつれて、現役講師の技術力や知識の向上が必要とされており、ボランティアの要請に至った。ボランティアには同校の服飾コースにて同僚と共に日日常業務や学生に対する座学や実習をサポートする中で、新しい技術やアイデアを共有する事が期待されている。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同僚講師と共にボランティアの経験を踏まえて以下の事を行う 1. 座学および実習のサポート 2. 講師に対する技術的なアドバイスやアイデアの共有 3. KAIZEN(5S)*に関する知識の共有など ・配属先における日常業務、新しい技術に関する共有も期待されている * KAIZEN(5S)とは「整理、整頓、清掃、清潔、躰」を軸とした職場環境の維持改善メソッドのこと。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 執務スペース、足踏みミシン、工業用ミシン等					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 服飾科学科長(女性) 服飾科講師(男女15名、2014年度) 大卒から専門学校卒業レベル 学生は高卒程度から社会人経験者まで			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)		
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 () 又は () ・性別 ()理由: ・学歴(専門学校卒) ()理由: 同僚が同等以上の学歴であるため ・経験(実務経験) (3年以上)理由: 実務を伴った実習を行うため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要		
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域 概況	気候(ステップ気候) 気温(10~30 ℃位) 電気(○安定 ●不安定 ○なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(○安定 ●不安定 ○なし)					
特記 事項						



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 8 月 5 日

要請番号 (JL 512 - 14 - B - 33)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G239)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期
ガーナ	服飾				27 / 1	27 / 2

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 雇用・労働関係省
	2) 配属先名 (日本語) クワボング職業技術訓練センター <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ブロング・アハフォ州アスナフォ・サウス郡 JICA事務所の所在地(アクラ)から 北西 方向 350 Km 主要都市(スニヤニ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 2 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 2007年に設立された雇用・労働関係省下にある職業訓練センターで、生徒数は167名。電気、調理、服飾など5コースがある。講師の人件費以外の予算は生徒が支払う授業料が資金源となっており、予算規模は小さいが、学校の運営に必要な労働力や土地などは地域コミュニティから必要に応じて提供を受けている。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 服飾コースは特に女性には人気のコースである。一方で、どこの職業訓練校やセンターでも服飾コースは開設されているため、人材は過剰の状態である。また、就職先として服飾の技術を活かせる会社などはほとんど存在しないため、多くの卒業生は自分と家族の為に習得した技術を使うに留まっている。そこで配属先は、ボランティアによって新しい技術や考え方が授業に取り入れられることにより、他の学校にはない特色を出すことができ、また、生徒に有益な知識や技術を学ぶ機会を提供できるのではないかと期待を持っている。更に、講師においても新しい技術や情報に触れる機会が少ないため、助言や情報共有などが求められており、今回のボランティア要請に至った。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 服飾の基礎から裁断、縫製の授業と実習を行う。 2. 同僚講師に対して、技術や情報の共有を行う。 3. 新デザインの提供を含め、授業内容に係る助言を行う。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 手動ミシン5台、電動ミシン1台、裁縫道具(メジャー、はさみ、針等)

要 請 概 要	4) 配属先同僚及び活動対象者 校長(男性、50代) 講師13名(20代~40代) (服飾講師1名) 主な指導対象者: 中学校卒業生	5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) (家政) 理由: 基本的技術と知識が必要 ・経歴 () () 理由: 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地 域 概 況	気候(サバナ気候) 気温(25~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
	特記事項



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 8 月 8 日

要請番号 (JL 527 - 14 - B - 13)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G239)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 3 /	日系/短期 年 月 から
ナミビア	服飾		要請理由・背景 団体設立以前はチェコからの経済的・技術的援助を受けていたが現在は受けていない。また、短期的な技術指導及びワークショップのため、長期滞在での技術指導を望んでいる。以前キートマンシュープ役場に派遣された隊員が、同団体との交流を持っていたため JICA ボランティアの存在を知り、今回の要請となった。過去に、近郊の町で活動していた美術隊員が同団体と交流を持ち、デザイン等のアドバイスをしていた。	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・縫製、刺繍にかかる技術指導 ・管理者、グループリーダーに対する品質向上指導 ・商品のデザイン開発(ナミビアのデザインを取り入れたデザイン開発)及び生産計画にかかるアドバイス ・ミシンのメンテナンス指導 ・材料入手のアドバイス ・仕事場の運営管理		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 保健社会福祉省					
	2) 配属先名 (日本語) NGO カラスファイセンクラフトトラスト <input checked="" type="radio"/> NGO					
要請概要	3) 任地 カラス州キートマンシュープ JICA 事務所の所在地 (ウイントフック) から 南 方向 400 Km 主要都市 (ウイントフック) までの交通手段及び所要時間 (車 で約 4.5 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 キートマンシュープ郊外貧困地域にある、エイズ、肺結核感染者及びその家族に就業機会を与えるためにチェコ NGO 団体の支援を受け 2009 年に設立された NPO 団体。従業員は約 50 名で、ほとんどが女性。裁縫を学びながら、布製の人形やランチョンマットなどを製作し販売している。					
資格条件等	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 工業用ミシン 3 台、工業用ロックミシン 1 台、家庭用ミシン 20 台、家庭用ロックミシン 1 台、刺繍コンピュータ機能、テキスタイルプリンティング機能付家庭用ミシン及び約 150 種類のデザイン。			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)		
	4) 配属先同僚及び活動対象者 管理者: 30 代女性 グループリーダー及びスタッフ約 50 名			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要		
地域概況	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) (業務関連分野) 理由: 専門性の高い知識が求められるた ・経歴 (実務経験) (2 年以上) 理由: 業務遂行上実務ノウハウが不可欠理由:			現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SV は通年対象外		
	気候 (砂漠・ステップ気候) 気温 (10~40 ℃位) 電気 (<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信 (<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道 (<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 JV)

記入日:平成 26 年 6 月 10 日

要請番号(JL 548 - 14 - B - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G239)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	JOCV/SV	日系/短期
タンザニア	服飾			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 3

配属概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育職業訓練省
	2) 配属先名 (日本語) 職業訓練公団 ダカワ職業訓練センター <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 モロゴロ州ボメロ県ダカワ JICA事務所の所在地(ダルエスサラーム市)から 西 方向 250 Km 主要都市(モロゴロ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 同校は1992年に創立された職業訓練公団(Vocational Education and Training Authority)直轄の職業訓練校で服飾コースの他、木工、電装、配管、皮革工芸の全5コースがある。教師総数は14名、生徒総数は約160名。服飾科は2年制で、現在約30名の生徒が在籍している。

要請概要	1) 要請理由・背景 タンザニアの縫製産業はミシン一台での仕立屋自営形態が一般的であり、同業者が多数いることから競争が激しく、生計を立てていくのに他者との差別化が求められている。同配属先の服飾コースではこれらの状況に対して、従来よりも品質やデザインに優れた製品の製作技術を生徒に提供していくことを目指している。しかし、新たな知識や経験を有する人材が慢性的に不足しているのが現状である。現在、同職種のJVが活動中であり、その後任案件として本要請が上げられた。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 同僚教師と共に服飾科の授業を担当する。 2. 同僚との協働を通して、同僚教師の指導、技術能力向上に寄与する。 3. 授業内容の工夫や改善と一緒に取り組み、より効果的な授業を実施できるよう支援する。 4. 他者との差別化に向けた製品作成のアイデアを一緒に考える。 5. 活動を通して手に職をつける喜びやモノづくりの楽しさを伝える

要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 足踏みミシン(18台)、工業用ミシン数種(12台)、ロックミシン(2台)、立刃式裁断機(1台)、小型裁断機(1台)、トルソー(破損)、裁断用机、アイロン他基本的な縫製道具
	4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚となる教師2名(30~40代女性)。生徒は10~20代の中学校卒業生。

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) (業務関連分野) 理由: 同僚と同等の資格 ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 専門的技術・知識が必要 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 否
		春募集時のみ適用 SVIは通年対象外

地域概況	気候(サバナ気候) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	---

特記事項	
------	--



長期 (長期 JV)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 26 年 7 月 1 日

要請番号 (JL 551 - 14 - B - 16)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G239)	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
ザンビア	服飾			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1
			27 / 2		
			27 / 3		

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育・科学・職業訓練・早期教育省	
	2) 配属先名 (日本語) カプエ技術訓練校 <input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 中央州カプエ JICA事務所の所在地(ルサカ)から 北 方向 160 Km 主要都市(カプエ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.2 時間)	
	4) 配属先の規模・事業内容 1982年に設立された国立の職業訓練校で、料理・自動車・服飾・木工等のコースを有し、全体の学生数は約120名である。主に国家試験合格者(日本でいう高校卒業生)を中心に職業訓練を行っているが、同敷地内に併設されているSecondary School(中等学校)の生徒も授業の1つとして職業訓練校のコースの中から専門科目を選択している。服飾コースには45名の学生が在籍しており、そのうち35名がSecondary SchoolのGrade10(日本でいう高校1年生)の学生となっている。現在、JICAを含め他国および国際機関等からの援助は入っていない。	

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 当国の職業訓練校の講師は、座学のみで理論を学んできた者が多く、現場経験が不足しているために、産業ニーズを汲み取った授業を行うことが難しい。この状況のなか、日本の現場で実務経験を積んだボランティアの協力を得て、職業訓練機関の現場における実務経験不足を補いたいとの考えから、JVの要請があった。初代となる同JVには、同僚講師と共に学生に裁縫の基礎技術を指導することが期待されている。また、ミシンのメンテナンス指導や簡単な修理も可能な範囲で求められている。	
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) <ul style="list-style-type: none"> ・学生に対する基礎技術(採寸、パターン、裁断、縫製、アイロン、仕上げ)の指導(実習16h/週、講義8h/週) ・同僚講師に対する多様なデザインにも対応できる縫製技術の指導 ・服飾コースのレッスンプラン見直しに関するアドバイス ・ミシンのメンテナンス指導および可能な範囲での修理 	
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 手廻しミシン8台、足踏みミシン4台、電動ミシン3台、ロックミシン3台、アイロン8台、カッティングマシン4台、裁縫道具一式	
	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚 ・コース主任 40代/女性/指導経験20年 ・同僚講師 40代/女性/指導経験15年	5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 実務指導を行うため 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(サバナ気候) 気温(5~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項	専門学校などで関連する技術を習得していることが望ましい
------	-----------------------------



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号(JL 551 - 14- B - 31)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G239)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3	日系/短期 年 月 から
ザンビア	服飾					
1) 受入省庁名 (日本語) 地域開発・母子保健省 2) 配属先名 (日本語) 国立身障者職業訓練校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 コッパーベルト州ンドラ JICA事務所の所在地(ルサカ)から 北 方向 300 Km 主要都市(ドラ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.2 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 1988年に設立された地域開発・母子保健省傘下の国立の職業訓練校で、主に障害者の社会進出および就労機会の創出を目的としており、一般社会で必要とされる各種技術の習得や就職に必要な資格の取得のための職業訓練を実施している。服飾科の他にコンピュータ科、農業科等、全部で13のコースを有し、現在、約130名の学生が在籍しており、服飾科の学生は20名となっている。ほとんどの学生が何らかの障害者を持っており、その種類は、肢体・知的・視覚・聴覚と様々であるが、比較的軽度な障害の学生が多い。なお、2015年3月に家政科へJV(H26-4、家政・生活改善)を派遣予定である。						
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 当国の職業訓練校の講師は、座学のみで理論を学んできた者が多く、現場経験が不足しているために、産業ニーズを汲み取った授業を行うことが難しい。この状況のなか、日本の現場で実務経験を積んだJVの協力を得て、職業訓練校の現場における実務経験不足を補いたいとの考えから、ボランティアの要請があった。また、服飾科の専任講師は2名(50代/女性)のみで、個別対応が不可欠となる障害を持った学生への指導において、現在の状況は十分ではない。同JVには同僚講師と共に学生に裁縫の基礎的な技術指導を行うことが期待されている。					
要 請 概 要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・学生に対する基礎技術(採寸、パターン、裁断、縫製、アイロン、仕上げ)の指導(実習14時間/週) ・同僚講師に対する多様なデザインにも対応できる縫製技術の指導 ・レッスンプラン見直しに関するアドバイス					
要 請 概 要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 電動ミシン7台、ロックミシン2台、プレスマシン1台、裁縫道具(針、鋏、メジャー)等					
要 請 概 要	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚 ・学科長 40代/男性 ・同僚講師 2名/50代/女性/指導経験20年		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)			
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 () 又は () ・性別 (女性) 理由: 配属先の希望による ・学歴 (高卒) () 理由: 配属先同僚レベルとの調和 ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 実務指導を行うため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地 域 概 況	気候(サバナ気候) 気温(5~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特 記 事 項	住居は、同校敷地内にある講師寮に入居予定。					



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号 (JL 551 - 14 - B - 32)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G239)	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV	
ザンビア	服飾			1年	27 / 1	日系/短期
				ヶ月	27 / 2	
				27 / 3	年 月 から	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育・科学・職業訓練・早期教育省					
	2) 配属先名 (日本語) ンドラ職業訓練校				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 コッパーベルト州ンドラ JICA事務所の所在地(ルサカ)から 北 方向 300 Km 主要都市(ンドラ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 1930年に設立された歴史のある職業訓練校で、服飾コースの他に観光、コンピュータ等のコースを有し、主に国家試験合格者(日本でいう高校卒業生)を中心に職業訓練が行われている。学生数は約300名で、服飾コース(長期および短期)には30名の学生が在籍している。過去にドイツからの支援でコンピュータが供与されているが、現在、他国からの援助は入っていない。なお、2015年3月にコンピュータ・コースへJV(H26-4、PCインストラクター)を派遣予定である。					
要請概要	1) 要請理由・背景 同国の職業訓練校の講師は、座学のみで理論を学んできた者が多く、現場経験が不足しているために、産業ニーズを汲み取った授業を行うことが難しい。この状況のなか、日本の現場で実務経験を積んだJVの協力を得て、職業訓練校の現場における実務経験不足を補いたいとの考えから、ボランティアの要請があった。初代となる同JVには、学生に対する縫製の基礎的な技術指導が期待される。また、ミシンのメンテナンスや簡単な修理も可能な範囲で求められている。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・学生に対する基礎技術(採寸、パターン、裁断、縫製、アイロン、仕上げ)の指導(実習12時間/週、理論4時間/週) ・同僚講師に対する多様なデザインにも対応できる縫製技術の指導 ・レッスンプラン見直しに関するアドバイス ・ミシンのメンテナンスおよび可能な範囲での修理					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 手回しミシン15台、ロックミシン2台、ニット用ミシン3台、アイロン1台、裁縫道具(針、鋏、メジャー)等					
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚 ・コース主任 30代/女性/指導経験10年 ・同僚講師 2名/30代/女性/指導経験6~10年			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 () 又は () ・性別 () 理由: () ・学歴 (高卒) () 理由: 配属先同僚レベルとの調和 ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 実務指導を行うため 理由: ()			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域概況	気候(サバナ気候) 気温(5~35 °C位)		電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)					



長期 (長期 JV)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 26 年 7 月 1 日

要請番号(JL 603 - 14 - B - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G239)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3	日系/短期 年 月 から
ジブチ	服飾					
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 女性向上・家族計画・国会連帯省 2) 配属先名 (日本語) ジブチ女性連合 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ジブチ市アルヒバ JICA事務所の所在地(ジブチ市ヘロン)から 北 方向 4 Km 主要都市(ジブチ市街)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.3 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 貧困削減対策の一環として女性の地位向上を目指し、創設された女性専門の3年制の学校。生徒の大半は、小学校卒業後、中学へ進学できない女性である。識字教育をはじめ洋裁、刺繍、料理の各教室がある。学校内には家庭内暴力など女性が被害にあった場合に相談に駆けつける部署も設置されている。年間予算は約US\$61,000。平成15年度2次隊で婦人子供服隊員が活動した際にファッションショーを開催したことがある。					
要請概要	1) 要請理由・背景 識字教育を受け、洋裁、刺繍、料理の技術を身に付けることにより、女性の地位向上を目指す。また、それらの技術を生かして収入を得ることも可能となる。協力隊ボランティアには洋裁の教室で、教師に指導するとともに、生徒に対しても型紙作成、縫製手順など基礎から懇切丁寧に忍耐強く指導することが望まれている。洋裁教室の教師3名のうち2名は、中国で研修を受けた経験もあり、更なる技術力向上を目指している。既成概念にとらわれない新しいデザインを取り入れることも良い刺激になると思われる。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・型紙作成、縫製手順などのマニュアル作成 ・新しいデザインの紹介 ・丁寧な仕上げを実践する ・展示会やファッションショーなどを企画することによって同僚教師や生徒の意欲向上を図る 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 シンガーミシン12台、ジューキミシン8台、裁縫道具一式(複数) 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長(女性)、副校長(女性)、洋裁教室の教師3名(女性)(うち2名は、27歳、35歳、中国での研修経験を有する)、生徒は年間約100名 5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 () 又は () ・性別 (女性) 理由: 指導対象者が女性 ・学歴 (専門学校卒) () 理由: 技術にかかる専門教育必要 ・経験 (指導経験) (3年以上) 理由: 要技術指導 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVIは通年対象外		
地域概況	気候(熱帯夏季少雨気候) 気温(25~50 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	非常に厳しい環境のため、心身ともに頑強であることが望まれる。					



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 8 月 3 日

要請番号(JL 603 - 14- B - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G239)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年	JOCV/SV 27 / 1
ジブチ	服飾			<input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 2 27 / 3
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 女性向上・家族計画・国会連絡省				
	2) 配属先名 (日本語) タジュラ婦人協会				<input checked="" type="radio"/> NGO
	3) 任地 タジュラ市 JICA事務所の所在地(ジブチ市)から 北西 方向 30 Km 主要都市(ジブチ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 6 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 タジュラ地域婦人の地位向上、社会参加促進を目的として設立された。年間予算約1,113千円。洋裁・刺繍・料理など家政一般を指導している。また、現金収入を目的に衣類・民芸品など小物の制作・展示・販売をおこなっている。2014年に日本の草の根無償資金協力で女性職業訓練センターが建設され、指導内容も家政一般にパソコン教室を加え、9月から運用を開始する。2006年～2007年にJOCV服飾隊員が活動していた実績がある。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 タジュラ地域の発展のため、農業・教育・地場産業など各分野への技術協力が要請されており、その一環として、女性の地位向上と、地場産業の育成を目的とした要請が挙げられた。タジュラ婦人協会は、女性の自立と社会的地位向上のため、手に職のある女性人材の育成を目的とした活動を行っている。女性達の自立・生活向上を目的とし、収入源確保のための衣料・装飾品等の作成と販売を行っており、この活動の促進のため、新商品の開発や品質向上への技術協力が期待されている。服のデザイン、型紙作成、裁断方法などの技術力向上のための指導はもとより、販路開拓、女性グループ組織化も期待されている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・服飾にかかる技術指導。特にデザイン・型紙作成・裁断などの新商品開発 ・裁縫の技術を駆使した装飾品・お土産(シュシュ・ポーチなど)の改良・開発 ・上記商品の販路開拓 ・地場産業女性グループの組織化・運営指導				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 足踏み式ミシン、裁縫道具一式				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先:所長1名(女性40代)、副所長1名(男性40代)、所員1名(女性40代) 対象者:生徒(10～20代)、女性グループ(20～50代)			5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:)	
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由: 服飾関係の知識が必要 ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 実務に基づいた説得力が必要 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	
地 域 概 況	気候(熱帯夏季少雨気候) 気温(25～37 ℃位)			電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	
	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				
特 記 事 項	非常に厳しい環境のため、心身ともに頑強であることが望まれる。				



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 8 月 6 日

要請番号(JL 636 - 14- B - 10)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G239)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
ルワンダ	服飾			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1
				/	年 月 から
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省雇用開発局				
	2) 配属先名 (日本語) キュンバ職業訓練センター				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 南部県ムハンガ郡キュンバ JICA事務所の所在地(キガリ)から 南 方向 100 Km 主要都市(キガリ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.5 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、2005年に設立された公立職業訓練校。2012年現在3つのコース(木工、建築、洋裁)が開講され、合計129名(内66名が女性)の学生が在籍している。年間予算は約1万3千米ドル。教職員の総数は10名。外国の援助状況は、国際NGO国際飢餓対策機構連合から16台のミシンの供与を受けた実績がある。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 ルワンダ国は、国家開発計画Vision2020において、知識集約型経済(Knowledge-Based Economy)の実現を掲げ、人的資源開発、とりわけ科学技術分野の人材育成に取り組んでいる。2007年に採択された経済開発・貧困削減戦略(EDPRS2008-2012)においては、教育の質向上と技能向上が重要視され、技術職業教育訓練(TVET)の強化に関する新しいモニタリング指標も加えられた。しかし、科学技術社会の基盤となる人材が不足しており、ルワンダ国教育省雇用開発局(Workforce Development Authority:WDA)傘下のTVET機関も、必ずしも産業界の人材ニーズに応えられてはいない。同配属先においては、地元における青年の雇用促進を図るべく、特に洋裁コースの質の向上(共通した指導方法、理論的な説明、効率化など)を目指しており、今回のボランティア要請に至った。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 洋裁コース(1年制)の授業を現地教員と共に担当し、以下の活動を行う。 1. 現行の実習授業を見直すと共に、学生に対して直接洋裁実習の授業を行う。 2. 現地講師に対し、洋裁実習に関する全般的な指導及びアドバイスを行う。 3. 洋裁実習にかかる教材作成の支援を行う。 4. インターン中の学生のサポート及び学生の就職支援を行う。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 中国製ミシン16台				
要 請 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先責任者: 学校長(女性、高卒、30代) カウンターパート: 服飾担当講師3名(女性1名、男性2名、高卒、20代と50代) 服飾コース学生: 61名(内2名男性)、16-24歳			5) 活動使用言語 (英語)	
				6) 生活使用言語 (その他)	
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格() 又は() ・性別()理由: ・学歴(専門学校卒)(家政)理由: 服飾の専門性を有するため ・経歴(実務経験)(2年以上)理由: 実践的な内容の指導に必要理由:			7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:)	
				活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
地 域 概 況	気候(熱帯性気候) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	
	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				
特記事項					

